Canon
キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90005

受付時間：平日 9:00～20:00
土・日・祝日 10:00～17:00
（1月1日～1月3日は休ませていただきます）

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9630をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

別紙でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノン株式会社
http://canon.jp/bebit/

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 デジタルカメラ製品情報
http://canon.jp/dc/

キヤノンサポートページ
http://canon.jp/support/

CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net/

CDI-J271-010 XXXXXXX PRINTED IN JAPAN

Canon キヤノンデジタルカメラ PowerShot S5 IS カメラユーザーガイド 応用編

Canon

CDI-J271

キヤノンデジタルカメラ
PowerShot S5 IS

応用編



カメラユーザーガイド

本書ではカメラの機能や使いかたを詳細に説明しています。

DiG!C III CANON iMAGE GATEWAY PictBridge DIRECT PRINT BUBBLE JET DIRECT Exif Print DPOF CERTIFIED HI-SPEED USB

主な特長

撮影

- レンズシフト式手ぶれ補正機構つき 12 倍ズーム
- 高感度ISO設定、ISOブースターで、手ぶれや被写体ぶれを抑えて撮影
- どのモードでも、動画ボタンを押して動画撮影（ステレオ音声つき）
- 画面内の人の顔を検出する顔優先 AF
- 別売のワイドコンバーター、テレコンバーター、クローズアップレンズや EOS 用外付けストロボを装着して撮影



再生

- ステレオ音声つき動画再生
- カテゴリーに分けて画像を管理
- スライドショーで自動再生
- 音声のみを記録（サウンドレコーダー）

編集

- 赤目を補正
- 静止画に、レタッチマイカラーで効果をつける
- 動画を編集
- 静止画に音声メモを記録

印刷

- イージーダイレクトボタンで簡単印刷
- キヤノン製以外の PictBridge 対応プリンターでも印刷可能

撮影した画像の活用

- イージーダイレクトボタンで簡単にパソコンへ転送
- マイカメラ機能で、カメラの起動画面や起動音を自在にカスタマイズ
- オンラインフォトサービス「CANON iMAGE GATEWAY」で、オリジナルアルバムの作成、公開

このガイドの表記について

見出しの横または下にあるマークは、この操作が行えるモードを表しています。

モード：撮影（）／再生（）

連続して撮る

撮影モード AUTO SCN* P Tv Av M

・グレー表示の撮影モードでは操作できません。

●巻末の「各撮影モードで設定できる機能一覧」もご覧ください。

：カメラを正しく動作させるための注意や制限を記載しています。

：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

このカメラでは、SD メモリーカード、SDHC メモリーカードおよびマルチメディアカードをお使いになれます。このガイドでは、これらをメモリーカードと表記します。

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

目次

☆のページでは、このカメラの機能や操作をまとめて記載しています。

取り扱い上のご注意

必ずお読みください

試し撮り

必ず事前に試し撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。
万一、このカメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがこのカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

保証について

このカメラの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

ご注意

本体温度について

このカメラは、電源を入れたあと長時間お使いになっていると、本体温度が高くなることがありますが、故障ではありません。

液晶モニターとビューファインダーについて

液晶モニターとビューファインダーは、非常に精密度の高い技術で作られており 99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。

安全上のご注意

- ご使用前に本書、および基本編の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 本機器：カメラ、電池、バッテリーチャージャー（別売）、コンパクトパワーアダプター（別売）

⚠ **警告**	この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。
⚠ **注意**	この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。

⚠	△記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。記号の中の図は注意事項を意味します。
⃠	⃠記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します。（左図：分解禁止）
❗	●記号は、必ず守っていただきたいことがらを示します。記号の中の図は指示内容を意味します。

⚠ 警告

本機器

●カメラを太陽や強い光源に向けないでください。

撮像素子（CCD）が損傷する場合があります。

●お子様や幼児の手の届かないところに保管してください。

・ネックストラップ：誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

・メモリーカード：誤って飲み込むと危険です。
万一､飲み込んだ場合には、ただちに医師にご相談ください。

●分解、改造しないでください。

●落下などで、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。

●煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。

●内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。水滴がかかったり、潮風にさらされたときは、吸水性のあるやわらかい布で拭いてください。

火災、感電の原因となります。

機器本体の電源を切り、その後必ず、電池を外すか、バッテリーチャージャー、あるいはコンパクトパワーアダプターをコンセントから抜き、お買い上げになった販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

- **アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤で手入れしないでください。**
- **電源コードに重いものを載せたり、傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。**
- **本機器専用以外の電源は使用しないでください。**
- **電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。**
- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**

火災や感電の原因となります。

電池

- **火に近付けたり、火の中に投げ込まないでください。**
- **水や海水に濡らさないでください。**
- **分解、改造したり、加熱しないでください。**
- **落とすなどして強い衝撃を与えないでください。**
- **指定外の電池を使用しないでください。**

電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。万一、電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。

- **バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターは、充電終了後および使用しないときは、カメラと電源コンセントの両方から外してください。**
- **テーブルクロス、じゅうたん、布団、クッションなどをかけたまま充電しないでください。**

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となります。

●キヤノン製の単3形ニッケル水素電池を充電する場合は、指定されたバッテリーチャージャー以外は使用しないでください。

●コンパクトパワーアダプターの出力端子は本機器専用です。他の製品には、お使いにならないでください。

発熱、変形して、火災、感電の原因となります。

●廃却する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。

廃却の際、他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となります。

その他

●ストロボを人の目に近付けて発光しないでください。

特に、乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。視力障害の原因となります。

●カメラのスピーカーに磁気の影響を受けやすいもの（クレジットカードなど）を近付けないでください。

それらのデータが壊れて、使用できなくなることがあります。

●別売のワイドコンバーター、テレコンバーター、クローズアップレンズ、コンバージョンレンズアダプターを取り付けるときは、確実にねじ込んでください。

緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。

⚠注意

本機器

●**ネックストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えないでください。**

●**撮影時に、レンズの先端を強く押したり、ぶつけたりしないでください。**

けがや本体の故障の原因となることがあります。

●**湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。**

●**電源プラグや充電端子部に金属製のピンやゴミを付着させないでください。**

火災、感電、故障の原因となることがあります。

●**直射日光のあたる場所、および車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところで使用・保管しないでください。**

●**コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしないでください。また、電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みが不十分なまま使用しないでください。**

●**風通しの悪いところで使用しないでください。**

液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。また、機器外装が熱により変形することがあります。

●**使用しないときは、電池を取り出し､保存してください。**

カメラに、電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。

ストロボ

●**発光部分にゴミやほこりなど異物がついたまま発光しないでください。**

●**発光部分を手や布などで覆ったまま発光しないでください。**

煙や音が出て、故障の原因となったり、発熱によりストロボ発光部分の損傷の原因となることがあります。

●**連続発光後､発光部分に触れないでください。**

やけどの原因となることがあります。

故障を防ぐためのご注意

電磁波による誤作動、破壊を防ぐために

●**カメラをモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。**

電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像のデータが破壊されることがあります。

結露を防ぐために

●**カメラを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。**

カメラを寒い場所から急に暑い場所に移すと、カメラの外部や内部に結露（水滴）が発生することがあります。

結露が発生したときは

●**カメラを使用しないでください。**

故障の原因になります。
カメラを使う場合は､メモリーカード、電池、コンパクトパワーアダプターをカメラから取り外し、水滴が消えるまでお待ちください。

ご使用の前に - 基本操作

液晶モニターとビューファインダーの使いかた

DISP. ボタンを押すと、表示の切り換えができます。
撮影モードでは情報表示設定（p. 15）の内容で切り換わります。
また、液晶モニターを閉じると、ビューファインダー表示に切り換わります。

1 DISP. ボタンを押す

- DISP. ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

撮影モードのとき（撮影）

➡ :液晶モニターを開いているとき
➡ :液晶モニターを閉じているとき

液晶モニター（表示先 1）
（情報表示なし）*
↓
液晶モニター（表示先 2）
（情報表示あり）*
↓
ビューファインダー（表示先 1）
（情報表示なし）*
↓
ビューファインダー（表示先 2）
（情報表示あり）*

再生モードのとき（再生）

情報表示なし
↓
簡易表示
↓
詳細表示

＊初期設定。表示内容は変更できます（p. 15）。
（「情報表示あり」のときは、撮影情報、グリッドライン、ヒストグラム（**P**、**Tv**、**Av**、**M** のみ）を表示）

- 撮影の設定を変更したときは、液晶モニター設定に関係なく約6秒間撮影情報が表示されます。
- 液晶モニターとビューファインダーの明るさを調整できます（p. 31）。

- 液晶モニターの設定は、電源を切っても保持されます。
- 拡大表示時（p. 95）、インデックス再生時（p. 96）は、詳細表示に切り換わりません。
- 屋外など周囲が明るい場所で液晶モニターが見えにくいときは、ビューファインダーを使って撮影してください。
  また、ビューファインダーから情報表示（p. 18）がはっきり見えるように、視度調節ダイヤル（基本編 p. 3）で調節してください。

時計を表示する



現在の日付と時刻を 5 秒間*表示する方法が、2 通りあります。

*初期設定

①/ボタンを押しながら、電源を入れる

②撮影/再生モード時に/ボタンを1秒以上押す

・カメラを横にすると時計を表示し、縦にすると時計 / 日付を表示します。

・時計の表示中に ◀▶ ボタンを押すと、表示色を変更できます。

・時計の表示時間が経過するか、次の操作のためにボタン操作をすると時計表示が終了します。

・時計の表示時間は、[設定] メニューで変更できます (p. 26)。

・拡大表示時（p. 95）は、時計を表示できません。

情報の表示内容を設定する

撮影モード AUTO SCN *1 *2 P Tv Av M

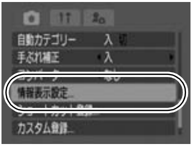
＊1［撮影情報］のみ表示できます。
＊2［3:2 ガイド］は表示できません。

液晶モニターとビューファインダーそれぞれに、次の情報の表示 / 非表示を 2 つずつ設定し、DISP. ボタンで切り換えることができます（p. 13）。

表示先	液晶モニター（ / ）またはビューファインダー（ / ）それぞれの、表示/非表示を設定できます。それぞれの表示先は、DISP. ボタンを押すと順番に切り換えられます（p. 13）。
撮影情報	撮影情報を表示します（p. 18）。
グリッドライン	画面を9分割したラインを表示します。被写体の水平や垂直を確認できます（p. 18）。
3:2 ガイド	印刷範囲（縦横比約3:2）を確認できます＊。印刷されない領域はグレーになります（p. 18）。 ＊記録される画像の縦横比は、通常画面と同じ 4:3 となります。
ヒストグラム	撮影モード：P / Tv / Av / M ヒストグラムを表示します（p. 17）。

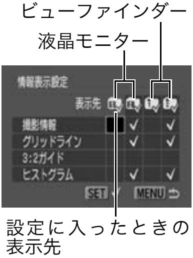
1 （撮影）メニュー→［情報表示設定］→SETボタン

メニュー操作（p. 26）



2 [表示先]➔ / / /

- DISP. ボタンを押したときの液晶モニターまたはビューファインダーの表示/非表示を設定します。
- DISP. ボタンを押したときに、表示したくない表示先がある場合は、その表示先を▲▼◀▶ボタンで選び、SETボタンを押して、⊘をつけます（、、、）。
- 設定に入ったときの液晶モニターの表示先に⊘をつけることはできません。



3 [撮影情報]/[グリッドライン]/[3:2 ガイド]/[ヒストグラム]

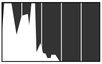
- 選んだ表示先に表示させたい項目を ▲▼◀▶ ボタンで選び、SETボタンを押して、✓をつけます。
- 表示させたい項目がグレーになっていても設定はできますが、設定に入ったときの撮影モードでは表示できません。
- ✓が1つもない出力先は、情報表示なしとなります。
- 初期設定： 、 ：情報表示なし
  、 ：撮影情報、グリッドライン、ヒストグラムを表示

- シャッターボタンを半押しして情報表示設定画面から撮影画面に戻ると、設定内容は保存されません。

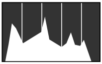
ヒストグラムについて

ヒストグラムは、画像の明るさを判断する目安となるグラフで、**P**、**Tv**、**Av**、**M** モードではこれを表示させ、確認しながら撮影できます。グラフが左に寄るほど暗い画像になり、右に寄るほど明るい画像になります。暗いほうに偏っているときは、露出をプラス側に補正し、明るいときは、マイナス側に補正して撮影します(p. 76)。

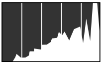
ヒストグラム例



暗い画像



普通の明るさの画像



明るい画像

- **M** モードでは、シャッタースピード、絞り数値、ISO 感度を変更して画像の明るさを補正できます。

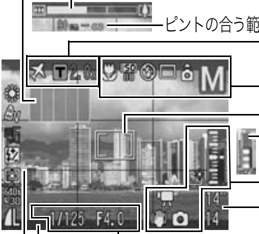
「ナイトビュー」機能について

暗い場所での撮影時は、被写体の明るさに合わせて、カメラが自動的に液晶モニターまたはビューファインダーに表示される画像の明るさを調節するため*、暗い場所でも構図を決めやすくなります。

*液晶モニターまたはビューファインダーにノイズが表示されたり、表示される被写体の動きがややぎこちなくなることがありますが、記録される画像に影響はありません。なお、液晶モニターまたはビューファインダーに表示される画像の明るさと、実際に撮影される画像の明るさは異なります。

液晶モニターに表示される情報

撮影情報（撮影モードのとき）



ヒストグラム（p. 17）

ズームバー

ピントの合う範囲（目安）

バッファー警告＊2

3:2 ガイド（p. 15）

グリッドライン（p. 15）

エリア設定（p. 23）
デジタルテレコン（p. 38）
ズーム倍率（p. 38）
セーフティズーム（p. 39）

ウインドカット（p. 50）
撮影不可（p. 49）
標準露出指数 / 露出レベルマーク（p. 61）
フォルダ作成通知（p. 91）
MF インジケーター（p. 67）

・静止画：記録可能画像数＊3
・動画：記録可能時間＊3/ 記録時間

-2 … +2 露出補正＊1（p. 76）
ホワイトバランス（p. 80）
マイカラー（p. 82）
ブラケット（p. 70、79）
ストロボ調光補正（p. 85） ストロボ発光量（p. 85）
測光方式（p. 71）
記録画素数 / フレームレート（動画）（p. 48）
圧縮率（静止画）（p. 37）
L M1 M2 M3 S W 記録画素数（p. 48）
（赤）手ぶれ警告＊1（p. 19）

AE ロック /FE ロック （p. 76、67）
露出シフトバー（動画）（p. 47）
シャッタースピード（p. 169）
絞り数値（p. 60）
手ぶれ補正（p. 41）
AF ロック（p. 67）
マニュアルフォーカス（p. 68）

撮影モード AUTO P Tv Av M (基本編 p. 11 ～ 13) (p. 46)
C カスタム(p. 87)
マクロ / スーパーマクロ(基本編 p. 16)
ISO AUTO ISO HI ISO 80 ISO 100 ISO 200 ISO 400 ISO 800 ISO 1600 ISO 感度(p. 73)
バッテリー残量低下(p. 148)
ストロボ(基本編 p. 14) (赤)ストロボ警告(p. 19)
ドライブモード(p. 42、基本編 p. 18)
縦横自動回転(p. 90)
●録画 動画撮影(p. 46)

[ ]スポット測光枠(p. 71)
AF 枠(p. 63)

＊1 シャッターボタンを半押しすると表示されます。

＊2 動画記録時に内部メモリー（バッファー）が半分以下になると表示されます（バッファー警告がいっぱいまで点灯すると、撮影や記録を途中で中止する場合があります）。

＊3 静止画記録可能画像数、または動画記録可能時間（待機時）は、どちらかの記録可能容量がいっぱいになったときに、0 を赤字で表示します。両方の記録可能容量がいっぱいになったときは、「カードがいっぱいです」のメッセージが表示されます。

- 液晶モニター（またはビューファインダー）に「ストロボを上げてください」、または(手ぶれ警告）や(ストロボ警告）が点滅表示された場合は、光量不足でシャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。以下の方法で撮影してください。
  - 手ぶれ補正を［切］以外に設定する（p. 29）
  - ISO 感度を上げる（p. 73）
  - ISO ブースターを［入］にする（p. 74）
  - ストロボを上げてオートまたは常時発光にする
  - 三脚などでカメラを固定する

再生情報（再生モードのとき）

■簡易表示

絞込み再生（p. 98）

WAVE タイプの音声（p. 109）

フォルダ番号 - 画像番号



撮影日時

プロテクト情報（p. 117）

圧縮率（静止画）（p. 37）

記録画素数（静止画）（p. 37）

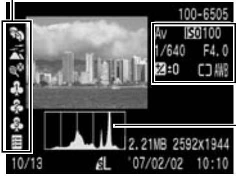
動画（p. 99）

総画像数

再生画像番号

■詳細表示

マイカテゴリー(p. 97)



ヒストグラム（p. 17）

撮影モード(基本編 p. 11 ～ 13) AUTO P Tv Av M	ストロボ発光量（p. 85）
動画撮影中に記録した静止画の画像(p. 49)	マイカラー(p. 82) （* 付きの 2 種を含む）
ISO 80 … ISO1600 ISO 感度（p. 73）	レタッチマイカラー（p. 107）
シャッタースピード（p. 169）	赤目補正(p. 105)
絞り数値	赤目補正(p. 105)/ レタッチマイカラーの画像(p. 107)
640 320 640 LP L60 L30 記録画素数 / フレームレート(動画) (p. 48)	MF マニュアルフォーカス（p. 68）
-2 … +2 露出補正（p. 76）	マクロ / スーパーマクロ (基本編 p. 16)
測光方式（p. 71）	ファイルサイズ
AWB ホワイトバランス（p. 80）	記録画素数（静止画）（p. 36）
-2 … +2 ストロボ調光補正(p. 85)	記録時間（動画）（p. 176）

＊ワンポイントカラー、またはスイッチカラーモードで撮影したときに表示されます。

画像によっては、以下の情報を表示することがあります。

♪?	WAVE タイプ以外の音声ファイル、または、認識できないファイルがついています。
⚠	DCF(p. 171)の規格と異なる構造を持つ JPEG タイプです。
RAW	RAW タイプです。
?	認識できないタイプです。

- 他のカメラで撮影した画像は、情報が正しく表示されないことがあります。
- 高輝度警告について
  以下のとき、撮影画像に露出オーバー部分があると、その個所が点滅表示されます。
  - 撮影直後に、液晶モニター（情報表示あり）またはビューファインダー（情報表示あり）で画像を確認したとき
  - 再生モードで詳細表示にしたとき

節電機能について

このカメラには、節電機能がついています。
次のようなときに電源が切れます。再度電源を入れると復帰します。

撮影時	約3分間、何も操作しないとき。節電機能が[切]でも、液晶モニターまたはビューファインダーを表示して約1分間*何も操作しないと液晶モニターまたはビューファインダーが消えます（OFFボタン以外のボタンを押すか、またはカメラの縦・横の向きを変えるとつきます）。
再生時 プリンター接続時	約5分間、カメラの操作を何もしないとき

*初期設定。時間を変更できます。

- 節電機能が働いて電源が切れても、微量の電力が消費されますのでご注意ください。
- スライドショーで自動再生中およびパソコン接続時は、節電機能は働きません。
- 節電機能の設定を変更できます（p. 31）。

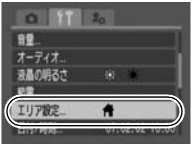
世界時計を設定する

海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先（旅行先）のエリアを登録しておくと、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付/時刻を設定しなおす必要がなく便利です。

自宅/訪問先のエリアを設定する

1 **(設定)メニュー→[エリア設定]→SETボタン**

メニュー操作（p. 26）



2 **(自宅)→SETボタン**



3 **◀▶ボタンで自宅エリアを選ぶ→SETボタン**

- サマータイムを設定する場合は、▲▼ボタンでを選び、設定します。時刻は1時間プラスされます。



4 **(訪問先)→SETボタン**



5 ◀▶ボタンで訪問先エリアを選ぶ➡SETボタン

- 手順 3 と同様に、サマータイムを設定できます。

自宅エリアからの時差

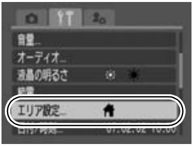


6 ▲ボタンで[自宅/訪問先]を選び、◀▶ボタンで🏠を選ぶ➡MENUボタン

訪問先の日付に切り換える

1 (設定)メニュー➡[エリア設定]➡SETボタン

メニュー操作(p. 26)



2 ◀▶ボタンでエリア✈を選ぶ➡MENUボタン

- 訪問先のエリアを変更する場合は、SETボタンを押します。
- 訪問先の日付に切り換えると、液晶モニターに✈が表示されます。



- 自宅のエリア選択をしないと、訪問先は設定できません。

- 訪問先が選択されているときに、日付 / 時刻の変更を行うと、自宅の日時も自動的に変更されます。

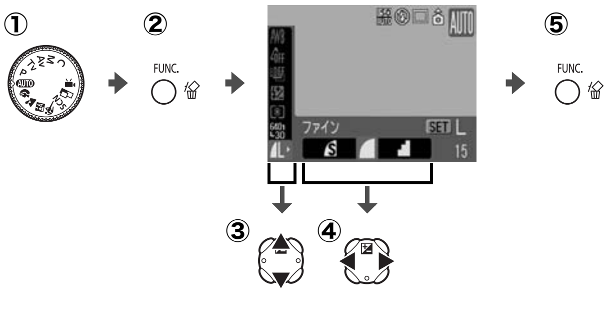
メニューの表示と設定のしかた

撮影時や再生時の設定や、印刷の設定、日付 / 時刻、電子音などのカメラの設定は、メニューを使って設定します。次のメニューがあります。

- FUNC. メニュー
- 撮影 / 再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニュー

FUNC. メニュー

撮影時に、よく使う機能を設定します。



・AUTO（オート）時の画面例です。

①撮影モードダイヤルを撮影したいモードに合わせる

② FUNC. ボタンを押す

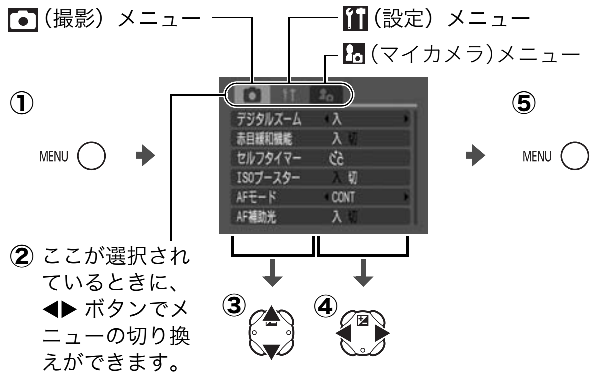
③ ▲▼ ボタンでメニュー項目を選ぶ
- 撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります。

④ ◀▶ ボタンで設定内容を選ぶ
- 設定項目によっては、SET ボタンでさらに変更できます。
- 選択後、シャッターボタンを押してすぐに撮影できます。撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

⑤ FUNC. ボタンを押す

撮影 / 再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニュー

撮影 / 再生 / 印刷時の便利な機能を設定します。



・AUTO（オート）時の撮影メニューの画面例です。

・再生時は、再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニューが表示されます。

① MENU ボタンを押す

② ◀▶ ボタンでメニューを切り換える

・ズームレバーでもメニューの切り換えができます。

③ ▲▼ ボタンでメニュー項目を選ぶ

・撮影モードによって、表示されるメニュー項目が異なります。

④ ◀▶ ボタンで設定内容を選ぶ

・「. . . 」のある項目では、SET ボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度 SET ボタンを押して設定内容を確定します。

⑤ MENU ボタンを押す

メニュー一覧

巻末の「各撮影モードで設定できる機能一覧」もご覧ください。

FUNC. メニュー

ここに表示されているアイコンは、初期設定を表します。

項目		参照先
	ホワイトバランス	p. 80
	マイカラー	p. 82
	ブラケット	p. 70、79
	ストロボ調光補正 / ストロボ発光量	p. 85
	測光方式	p. 71
	記録画素数 / フレームレート（動画）	p. 48
	圧縮率 / 記録画素数（静止画）	p. 36

撮影メニュー（📷）

＊初期設定

項目	選択項目	内容 / 参照先
AF 枠移動機能	入＊ / 切	p. 63
デジタルズーム		p. 38
（静止画）	入＊ / 切 / テレコン 1.6x/ テレコン 2.0x	
（動画）	入＊ / 切	
ストロボ発光	先幕＊ / 後幕	p. 86
スローシンクロ	入 / 切＊	p. 40
ストロボ自動調光	入＊ / 切	p. 85
赤目緩和機能	入＊ / 切	p. 40
セーフティFE	入＊ / 切	p. 61
セルフタイマー	時間：0～10＊、15、20、30秒 枚数：1 ～ 3 ＊～ 10 枚	基本編 p. 18
スポット測光枠	中央固定＊ /AF 枠連動	p. 71
セーフティシフト	入 / 切＊	p. 61
ISO ブースター	入 / 切＊	p. 74
MF 拡大表示	入＊ / 切	p. 68
セーフティMF	入＊ / 切	p. 69
AF モード	CONT ＊ /SINGLE	p. 65
AF 補助光	入＊ / 切	ー
録画ランプ	入＊ / 切	p. 46
撮影の確認	切 /2 秒＊～10 秒 / ホールド	基本編 p. 10
オリジナル保存	入 / 切＊	p. 56
鏡像表示	入＊ / 切	基本編 p. 6
自動カテゴリー	入＊ / 切	撮影時、自動でカテゴリーに分類するかどうかを設定します。＊1

手ぶれ補正		p. 18、41
(静止画)	入* / 撮影時 / 流し撮り / 切	
(動画)	入* / 切	
コンバータ	なし* /WC-DC58A/ TC-DC58B/500D	p. 159
情報表示設定		p. 15
表示先	/ / /	
撮影情報	切*2/ 入*3	
グリッドライン	切*2/ 入*3	
3:2 ガイド	切*2*3/ 入	
ヒストグラム	切*2/ 入*3	
ショートカット 登録	* WB AEL AFL	p. 88
カスタム登録	ー	p. 87

＊ 1 次のカテゴリーに分類されます。

(人物):、 または AF 枠の［顔優先］を選択し、顔が検知された画像

(風景):、、

(イベント):、、、、、

＊ 2 液晶モニター表示 1、ビューファインダー 1 の初期設定

＊ 3 液晶モニター表示 2、ビューファインダー 2 の初期設定

再生メニュー(▶)

項目	参照先
スライドショー	p. 113
マイカテゴリー	p. 97
消去	p. 120
プロテクト	p. 117
赤目補正	p. 105
レタッチマイカラー	p. 107
サウンドレコーダー	p. 111
回転	p. 103
送信指定	p. 127
再生効果	p. 104

印刷メニュー(⎙)

項目	参照先
印刷	p. 123
印刷する画像を指定	
日付で指定	
マイカテゴリーで指定	
フォルダで指定	
すべての画像を指定	
すべての指定を解除	
印刷の設定	

設定メニュー(🔧)

＊初期設定

項目	選択項目	内容 / 参照先
消音	入 / 切＊	[入]にすると、警告時以外はすべて鳴りません(基本編 p. 9)。
音量	切 / 1 / 2＊ / 3 / 4 / 5	起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音、再生音の音量を調節します。ただし、[消音]が[入]になっていると設定できません。
起動音量		カメラ起動時の音量を調節します。
操作音量		シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音量を調節します。

項目	選択項目	内容 / 参照先
セルフタイマー音		撮影の 2 秒前から撮影するまでのセルフタイマー音の音量を調節します。
シャッター音量		シャッターボタンを全押ししたときの音量を調節します。動画撮影時には、シャッター音は鳴りません。
再生音量		動画再生時、音声メモまたはサウンドレコーダーの音量を調節します。
オーディオ		p. 50
マイクレベル	オート* / マニュアル	録音音量の調節方法を設定します。
録音レベル	− 40 ～ 0dB	録音音量を設定します。
ウィンドカット	入 / 切*	風による雑音を低減します。
液晶の明るさ	(標準)* / (明るい)	液晶モニター/ ビューファインダーの明るさを別々に設定します(明るさを設定したいほうを表示してから設定します)。
節電		p. 22
オートパワーオフ	入* / 切	一定時間カメラの操作をしないときに、自動的に電源を切るかどうかを設定します。
ディスプレイオフ	10秒/20秒/30秒/1 分* /2 分 /3 分	カメラの操作をしないときに、自動的に液晶モニター(またはビューファインダー)を消す時間を設定します。
エリア設定	自宅* / 訪問先	p. 23
日付 / 時刻		基本編 p. 8

項目	選択項目	内容 / 参照先
時計表示	0 ～ 5 ＊～ 10 秒 / 20 秒 /30 秒 /1 分 /2 分 /3 分	p. 14
カードの初期化		物理フォーマットも設定できます(p. 34)。
画像番号	通し番号＊ / オートリセット	p. 92
フォルダ作成		p. 91
新規作成	チェックをつけると設定できます。	次の撮影時にフォルダを作成します。
自動作成	切＊ / 毎日 / 月曜～日曜 / 毎月	自動で作成する時間も設定できます。
縦横自動回転	入＊ / 切	p. 90
距離表示	m/cm ＊ / ft / in	MF インジケーターやピントの合う範囲の距離表示の単位を設定します(p. 68)。
言語		基本編 p. 8
ビデオ出力方式	NTSC ＊ / PAL	p. 167
印刷接続方式	自動＊ /	下記参照＊1
初期設定		p. 33

＊ 1 プリンターとの接続方式を変更できます。通常、設定を変更する必要はありませんが、**W**（ワイド）で撮影した画像を、キヤノンコンパクトフォトプリンター SELPHY CP730/CP720/CP710/CP510 でワイドサイズ用紙全面に印刷するときは、 を選択してください。この設定は電源を切っても記憶されますので、**W** 以外の画像サイズを印刷するときは、[自動] に戻してください（ただしプリンター接続中は変更できません）。

マイカメラメニュー(![icon])

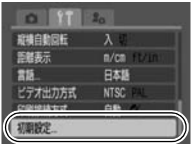
＊初期設定

項目	内容	参照先
セット	起動画面、起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音に共通するテーマを選びます。	p. 129
起動画面	電源を入れたときの起動画面を選びます。	
起動音	電源を入れたときの起動音を選びます。	
操作音	シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音を選びます。	
セルフタイマー音	セルフタイマー撮影で撮影の 2 秒前をお知らせする音を選びます。	
シャッター音	シャッターボタンを全押ししたときの音を選びます(動画撮影時には鳴りません)。	
設定内容	(切)/ 1 ＊ / 2 / 3	

設定を初期状態に戻す

1 (設定)メニュー ➡ [初期設定]

メニュー操作 (p. 26)



2 [OK]を選び、SETボタンを押す

- パソコン接続時、プリンター接続時は初期状態に戻せません。
- 以下の設定は、初期状態に戻りません。
  - 撮影モード
  - ［（設定）］メニューの［エリア設定］、［日付 / 時刻］、［言語］、［ビデオ出力方式］の設定（p. 31）
  - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ（p. 80）
  - SCNモードの［ワンポイントカラー］（p. 53）と［スイッチカラー］（p. 54）で取り込んだ色
  - 新しく登録したマイカメラコンテンツ（p. 130）
- カメラが撮影モードでモードダイヤルがCのときは、Cに登録してある設定のみ、初期設定に戻ります。それ以外のときは、Cの内容（p. 87）は初期化されません。

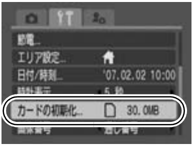
メモリーカードを初期化する

新しいメモリーカードをお使いになるときや、メモリーカード内の画像だけでなく他のデータもすべて消去したいときは、メモリーカードを初期化します。

- 初期化すると、メモリーカードに記録された画像（プロテクト画像も含む）だけでなく、すべてのデータが消去されますので、ご注意ください。
- （マイク）のアイコンが画面に表示されているときは、サウンドレコーダーのデータが残っています。十分に確認してから、初期化してください。

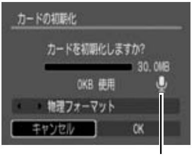
1 **（設定）メニュー➡［カードの初期化］**

メニュー操作（p. 26）



2 [OK]を選び、SETボタンを押す

- 物理フォーマットをする場合は、▲ ボタンで［物理フォーマット］を選び、◀▶ボタンでチェックをつけます。
- 物理フォーマットの場合、初期化中にSET ボタンを押すと、中止できます。中止した場合でも、そのメモリーカードは問題なくお使いになれますが、データはすべて消去されます。



サウンドレコーダーのデータ(p. 111)がある場合に表示されます。

- では操作できません。
- 物理フォーマットについて
  メモリーカードへの記録 / 読み出し速度が低下したと思われる場合などは、[物理フォーマット] を選択することをおすすめします。なお、メモリーカードによっては、物理フォーマットに 2 ～ 3 分かかる場合があります。

撮影時によく使う機能

記録画素数と圧縮率を変更する（静止画）

撮影モード　AUTO SCN P Tv Av M

1 FUNC.メニュー ➡ *（圧縮率/記録画素数）➡ L*（記録画素数）

メニュー操作（p. 26）

＊初期設定

- ◀▶ボタンで記録画素数を選びます。
- では W の設定はできません。



2 SETボタン ➡ *（圧縮率）

＊初期設定

- ◀▶ボタンで圧縮率を選びます。



記録可能画像数

記録画素数を選ぶときの目安

記録画素数			用途
L ラージ	3264 × 2448 画素	大きい ↑	A3 サイズ程度に印刷するとき
M1 ミドル 1	2592 × 1944 画素		A4 サイズ程度に印刷するとき
M2 ミドル 2	2048 × 1536 画素		A5 サイズ程度に印刷するとき
M3 ミドル 3	1600 × 1200 画素		L判やはがきサイズに印刷するとき
S スモール	640 × 480 画素	↓ 小さい	電子メールで画像を送るとき、またはより多くの画像を撮影するとき
W * ワイド	3264 × 1832 画素	ワイドサイズの用紙に印刷するとき（縦横比 16:9 の画像を記録できます。記録されない領域は液晶モニター上に黒帯が表示されます。）	

＊ ではお使いになれません。

圧縮率を選ぶときの目安

圧縮率		用途
スーパーファイン	きれい	より良い画質で撮影するとき
ファイン	↕	通常の撮影をするとき
ノーマル	普通	より多くの画像を撮影するとき

- 1 画像の容量（目安）（p. 177）
- メモリーカードの種類と記録可能画像数/時間（目安）（p. 175、p. 177）

撮影時によく使う機能

デジタルズーム/デジタルテレコンで撮る

撮影モード AUTO SCN*1 *2 P Tv Av M

＊1 、 では設定できません。
＊2 デジタルテレコンは設定できません。

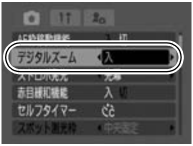
光学ズームと組み合わせて撮影できます。
焦点距離（35mm フィルム換算）と特長は次のとおりです。

選択項目	焦点距離	特長
入	36 ～ 1728mm	光学ズームとデジタルズームの組み合わせで、最大約48倍に拡大して撮影できます。
切	36 ～ 432mm	デジタルズームを使わずに撮影します。
テレコン 1.6x	57.6～691.2mm	デジタルズームが選択項目の倍率に固定され、焦点距離が望遠側に移動します。 同じ画角の撮影では、[入] や [切] のときに比べ、より速いシャッタースピードが利用でき、手ぶれしにくくなります。
テレコン 2.0x	72 ～ 864mm	

- W（ワイド）のときは、設定できません。

1 **（撮影）メニュー ➜ [デジタルズーム] ➜ [入]*/[切]/[テレコン1.6x]/[テレコン2.0x]**

メニュー操作（p. 26）



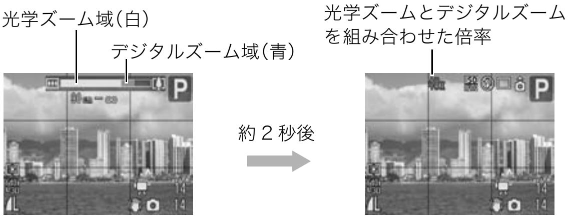
＊初期設定

- ［入］のとき
  「デジタルズームで撮る」（p. 39）をご覧ください。
- ［テレコン1.6x］、［テレコン2.0x］のとき
  「デジタルテレコンで撮る」（p. 39）をご覧ください。

デジタルズームで撮る

2 **ズームレバーを[♠]側に押し、撮影する**

- 液晶モニターに、光学ズームとデジタルズームを組み合わせた倍率が表示されます。
- 設定された記録画素数に応じて、画質が粗くならない最大のズーム倍率でいったん停止し（セーフティズーム）、液晶モニターに[▷◁]が表示されます。
  再度、[♠]側へ押すと、さらに拡大できます。
  このときズームバーの表示色は次の領域を示します。
  - 白色：光学ズーム
  - 黄色：デジタルズーム（画像は粗くなりません）
  - 青色：デジタルズーム（画像が粗くなります）
- [♠♠♠]側へ押すと、倍率が下がります。



デジタルテレコンで撮る

2 **ズームレバーで画角を調節し、撮影する**

- 液晶モニターに[T]と倍率が表示されます。
- 記録画素数によっては、画質が粗くなります（[T]と倍率が青色で表示されます）。



デジタルテレコンについて

デジタルズームを使って、テレコンバーター(望遠撮影するためのレンズ)の機能を実現したものが、デジタルテレコンです。

赤目緩和機能を設定する

撮影モード　AUTO SCN* P Tv Av M

＊ では設定できません。

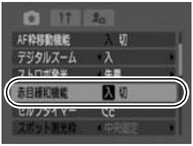
ストロボ発光時、自動的に赤目緩和*ランプを発光させるかどうかを設定します。

＊ストロボの光が反射して目が赤く写るのを軽減する機能です。

1 **（撮影）メニュー➔[赤目緩和機能]➔[入]*/[切]**

メニュー操作（p. 26）

＊初期設定



スローシンクロを設定する

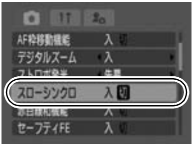
撮影モード　AUTO SCN P Tv Av M

遅いシャッタースピードで、ストロボを発光して撮影します。夜景や室内での撮影などで、背景だけが暗くなるのを軽減できます。

1 **（撮影）メニュー➔[スローシンクロ]➔[入]/[切]***

メニュー操作（p. 26）

＊初期設定



- ［手ぶれ補正］を［入］に設定していても、［スローシンクロ］を［入］にして撮影すると手ぶれしやすくなります。その場合、三脚をお使いになることをおすすめします。

手ぶれ補正を設定する

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

レンズシフト式手ぶれ補正を使うと、遠くの被写体を大きくして撮影したいときや、薄暗い場所でストロボを発光せずに撮影するときでも手ぶれを抑えた撮影ができます。

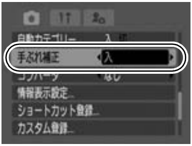
入	常時、手ぶれを補正します。液晶モニター(またはビューファインダー)で手ぶれ補正の効果を確認できるため、構図を決めたり、ピント合わせがしやすくなります。
撮影時*	シャッターがきれる瞬間のみ手ぶれを補正します。[入]に設定した場合に被写体によっては感じることのある、液晶モニター(またはビューファインダー)上の不自然な揺れを気にせずに撮影できます。
流し撮り*	カメラが上下方向にぶれたときにだけ、手ぶれを補正します。横方向に動いているものを、カメラで追いかけて撮影するときにおすすめします。

* では設定できません。

1 (撮影)メニュー→[手ぶれ補正]→[入]*/[撮影時]/[流し撮り]/[切]

メニュー操作(p. 26)

*初期設定



液晶モニターに、以下のアイコンが表示されます。

[入]	[撮影時]	[流し撮り]	撮影メニューの[コンバータ]の設定	参照先
			なし	—
			WC-DC58A	p. 179
			TC-DC58B	
			500D	

- 静止画の撮影モードで［撮影時］または［流し撮り］に設定後、モードダイヤルを🎥に変更した場合は［入］に設定変更されます。
- 夜景など、シャッタースピードが遅くなる撮影では、手ぶれを補正しきれないことがあります。三脚を使って撮影してください。
- 手ぶれが大きすぎると補正しきれないことがあります。
- ［流し撮り］は、カメラを横に構えてお使いください（カメラを縦に構えると補正を行いません）。

連続して撮る

撮影モード AUTO SCN* P Tv Av M

＊ 、 では設定できません。

シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影できます。なお、推奨メモリーカード*をお使いの場合は、一定の撮影間隔でメモリーカードの容量がいっぱいになるまで連続して撮影（スムーズ連写）できます（p. 175、p. 177）。

＊推奨メモリーカード：

撮影の直前に物理フォーマット（p. 34）を行った超高速のSDC-512MSH（別売）

		撮影速度（画像 / 秒）	撮影中のフォーカス	液晶モニターの表示
	連続撮影 短い撮影間隔で連続撮影できます。	約 1.5	固定*	撮影した画像
AF	**AF 連続撮影** オートフォーカスしながら連続撮影できます。	約 0.9	オートフォーカス	撮影直前の被写体
LV	**LV（Live View）連続撮影** マニュアルフォーカスで設定したピント位置を変えずに、被写体を確認しながら撮影できます。	約 0.9	固定*	撮影直前の被写体

＊ 1 画像目のピント位置で固定されます。

・ (ラージ・ファイン)モード時
・当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。
・連続撮影が中断したときに、メモリーカードの容量が余る場合があります。

1 /ボタンを押して、またはを表示する

● /ボタンを押すたびに設定が変わります。

＊1 初期設定
＊2 マニュアルフォーカスとのときはが表示されます。

2 撮影する

●シャッターボタンを全押ししている間は、撮影が続きます。シャッターボタンを放すと、撮影が終了します。

解除のしかた：手順 1 でを表示する

● では が初期設定になります。は設定できません。
● では は表示されません（が選択できます）。
● フォーカスブラケット撮影および AEB 撮影では設定できません。
● 時は、AF 枠が［中央］で撮影されます（p. 64）。

● カメラ内部のメモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなります。
● ストロボが発光する場合には、ストロボの充電時間が必要なため、撮影間隔が長くなります。

撮影直後にピントを確認する

撮影モード	AUTO SCN P Tv Av M

撮影直後に、ピントが合っているかどうかを確認できます。

1 撮影する

- 撮影した画像が約 2 秒間（または［撮影の確認］（p. 28）で設定した秒数）表示されます。

2 撮影した画像が表示されている間にDISP. ボタン（またはSETボタン）を押す

撮影した画像



橙色の枠内表示

- 液晶モニターの表示設定（p. 15）によって、DISP. ボタンを押す回数が異なります。右の画面が表示されるまで、DISP. ボタンを何回か押してください。
- 以下のとおりに表示されます。
  - ピントが合っているとき：撮影した画像にAF枠が白色で表示され、ピントの合っているAF枠内に、橙色の枠が表示されます。
  - ピントが合っていないとき：撮影した画像の中央に橙色の枠が表示されます。
  - 橙色の枠内の画像を右下で確認できます。ズームレバーで表示倍率を変更できます（p. 95）。
  - MENUボタンや▲▼または◀▶ボタンで、橙色の枠内表示の位置を移動できます。

解除のしかた：シャッターボタンを半押しする

- 画像の表示中に、(削除アイコン)ボタンを押すと画像を消去できます(基本編 p. 20)。
- DISP. ボタンを押すたびに、次のとおりに液晶モニターの表示が切り換わります。
  ピント確認表示→詳細情報表示→情報表示なし

AF 枠を切り換える / 表示位置を変更する

1 MENUボタンを押す

- ピントの合った複数のAF枠が表示された画像の場合、MENUボタンを押すごとに、橙色の枠内の表示が切り換わります。



2 ▲▼または◀▶ボタンで表示位置を変更する

- MENUボタンを押すと、橙色の枠が元の位置に戻ります。複数のAF枠が表示されている場合は、橙色の枠の位置が切り換わります。

モードダイヤルを使った撮影

動画を撮る

撮影モード　AUTO SCN P Tv Av M

モードダイヤルがどの位置にあっても、動画ボタンを押すだけで、動画を撮影＊[1]できます。
動画記録画素数 / フレームレートの選択（p. 48）ができ、「ワンポイントカラー」、「スイッチカラー」、「マイカラー」などと組み合わせても撮影できます。また、音声はステレオで記録されます。
以外の撮影モードでは、あらかじめ設定した FUNC メニューや撮影メニューの一部が、動画撮影時の設定に合わせて変更される場合があります。

●1 回の最大記録容量は 4GB ＊[2]です。

＊1 メモリーカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。（超高速のメモリーカード使用時（推奨メモリーカード：SDC-512MSH））

＊2 記録容量が 4GB に達していなくても、撮影時間が 1 時間に達した時点で記録を停止します。
メモリーカードの容量、データ書き込み速度により、4GB または 1 時間に満たなくても記録が停止する場合があります。

1 動画ボタンを押し、撮影する



- 動画ボタンを押すと撮影が開始され、同時に音声も記録されます。
- 撮影中は、液晶モニター（またはビューファインダー）に撮影時間と［●録画］が表示されます。
- 撮影中に顔を検出したときは、その顔にフォーカスを合わせます。
- 撮影中は録画ランプが赤点滅します。撮影終了後、動画の記録が終了すると消灯します。撮影メニューの［録画ランプ］が［切］に設定されているときは点滅しません（p. 28）。
- 再度動画ボタンを押すと、撮影が終了します。
なお、以下の場合は自動的に撮影が終了します。
  - 最大記録容量や最長記録時間を経過したとき
  - 内部メモリーやメモリーカードの容量がいっぱいになったとき
- ワンポイントカラー、スイッチカラーで撮影する場合は、あらかじめ設定してください（p. 53）。

- 動画を撮影するときは、このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください（p. 34）。付属のメモリーカードはそのままお使いになれます。
- 撮影中は、次のことに注意してください。
  - マイク（基本編 p. 1）に触れないでください。
  - 動画ボタン以外のボタンを押すと、ボタンを押す音も記録されてしまいます。
  - 撮影状況に応じて、カメラが自動的に適切な露出、ホワイトバランスを調整します。カメラが自動的に露出を調整する音が、一緒に記録される場合もあります。
- このカメラで撮影した画像は、他のカメラで正しく再生できない場合があります。
- 静止画の記録画素数を W に設定して動画撮影しても、記録される動画の縦横比は通常画面と同じ 4:3 になります。
- カメラを太陽に向けて、撮影しないでください。

- MF ボタンを押すと、その状態で AF ロックします。液晶モニター（またはビューファインダー）に MF が表示されます。もう一度 MF ボタンを押すと解除できます。
- 動画撮影中に、AE ロック（p. 76）と露出シフトができます（モードダイヤルが 動画 のときは、撮影前でも設定できます）。
  1. ISO ボタンを押す
     露出が固定（AE ロック）し、液晶モニター（またはビューファインダー）に露出シフトバーが表示されます。
  2. ◀▶ ボタンで露出を変更する
     もう一度、ISO ボタンを押すと解除できます。また、MENU ボタンを押したり、ホワイトバランス、マイカラー、撮影モードを変更すると解除されます。
- モードダイヤルが 動画 以外のときに動画記録を停止すると、動画撮影前の静止画の設定に戻ります。また、AE ロック（p. 76）と露出シフトの設定は解除されます。
- 動画（タイプ：AVI、圧縮方法：Motion JPEG）をパソコンで再生するには、QuickTime が必要です（Windows 2000 のみ）。

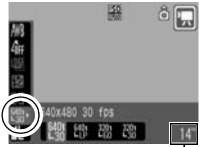
動画記録画素数 / フレームレートを変更する

どの撮影モードでも、動画記録画素数 / フレームレートを変更できます。

1 FUNC.ボタン➜ 640 L30 */640 LP/320 L60/320 L30（動画記録画素数/フレームレート）

メニュー操作（p. 25）

＊初期設定



記録可能時間

- ◀▶ ボタンで動画記録画素数 / フレームレートを選びFUNC. ボタンを押します。

動画記録画素数 / フレームレートについて

フレームレートは、1 秒間に撮影 / 再生するフレーム数を表します。フレームレートが高いほど滑らかな動きになります。

	記録画素数	フレームレート
640 L30	640 × 480 画素	30 フレーム / 秒
640 LP	640 × 480 画素	30 フレーム / 秒、LP（Long Play）
320 L60	320 × 240 画素	60 フレーム / 秒
320 L30	320 × 240 画素	30 フレーム / 秒

- 画質より撮影時間を優先したい場合は、640 LP を選んでください。同じファイル容量で約 2 倍の時間撮影ができます。
- 1 画像の容量（目安）（p. 177）
- メモリーカードの種類と記録可能画像数 / 時間（目安）（p. 175）。

動画撮影中に静止画を撮る

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

動画の撮影中でも高画質*の静止画を撮ることができます。

*設定した静止画の記録画素数と圧縮率になります（W を除く）。

1 **動画の撮影中に、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる**

- 半押しで静止画用にフォーカスと露出などを合わせ直します。このとき、電子音は鳴りません。この間、動画の撮影は継続されます。

2 **シャッターボタンを全押しして撮影する**

- 静止画を記録する間、液晶モニターの表示が一瞬消え、その後、動画表示に戻ります。静止画撮影時のシャッター音が記録されるため、その間の動画の音声は途切れます。

- ストロボは発光しません。
- ISO 感度は［オート］固定となります。
- 動画の撮影中に、W に設定した静止画を撮影した場合、記録画素数は、L（ラージ）に固定されます。
- 静止画の連写はできません。
- 静止画を撮影すると、内部メモリーの空きがなくなり、動画撮影を停止することがあります。
- 記録メディアの記録速度が遅かったり、内部メモリーの空きがないときは、以下のアイコンが表示され、静止画撮影できないことがあります。
  - ：点滅中は書き込み処理中です。点灯に変わったら撮影できます。
  - ：内部メモリーがいっぱいで撮影できません。

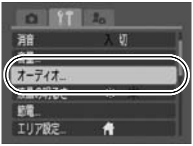
録音の機能を設定する

撮影モード　AUTO SCN P Tv Av M

動画、音声メモ（p. 109）やサウンドレコーダー（p. 111）のマイクレベル（録音音量）、ウィンドカットを変更できます。

1 (設定)メニュー➡[オーディオ]

メニュー操作（p. 26）



2 [マイクレベル]➡[オート]*/[マニュアル]

*初期設定

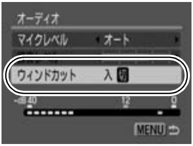
- ［マニュアル］の場合、▼ボタンを押して、◀▶ボタンで録音レベル（録音音量）を設定します。



3 [ウィンドカット]➡[入]/[切]*

*初期設定

- 風が強いときに［入］にすることをおすすめします。
- ［入］に設定すると、液晶モニターまたはビューファインダーに が表示されます。



- ［オート］の場合、録音音量が大きくなりすぎても、自動的に音割れを防ぎます。
- ウィンドカットは、風が強いときに発生する雑音を低減できます。ただし、風がない場所で録音したときは、不自然な音になることがあります。

パノラマ画像を撮る（スティッチアシスト）

撮影モード　AUTO　SCN　P Tv Av M

撮影した画像をパソコンで合成（スティッチ）し、パノラマ画像を作るときに使います。





複数の画像をつなぎ合わせて、パノラマ画像を作成できます。

1 ◀▶ボタンで撮影方向を選ぶ



- 次の5つの方向が選べます。
  - 左から右方向へ水平に撮影
  - 右から左方向へ水平に撮影
  - 下から上へ垂直に撮影
  - 上から下へ垂直に撮影
  - 左上を基点に時計回りに4画像撮影

2 最初の画像を撮影する

- 1画像目の撮影で、露出やホワイトバランスが固定されます。

3 最初の画像にオーバーラップさせて、次の画像を撮影する



- 十字ボタンの ◀▶ ボタンまたは ▲▼ ボタンを押すと1つ前の撮影済み画像に戻り、撮影のやり直しができます（時計回り撮影のときは、全画像撮影のやり直しが可能）。
- オーバーラップは、多少ずれても合成時に修正されます。

4 同様の操作で3画像目以降を撮影する

- 最大 26 画像まで撮影できます（時計回りで撮影したときを除く）。
- 最後の撮影後、SETボタンを押します。

- 画像をテレビに表示しながらの撮影はできません。
- 2 画像目以降の撮影では、最初の撮影の設定が適用されます。

- パソコンでの画像合成には、付属のソフトウェア「PhotoStitch」をお使いください。

SCN 色を変えて撮る

撮影モード AUTO SCN( ) P Tv Av M

画像の色味を簡易的に変化させて撮影します。静止画だけでなく、動画でも利用でき、画像効果や映像効果を演出した撮影が楽しめます。ただし、撮影状況によっては、画像が粗くなったり、思い通りの色にならないことがあります。そのため、大切なシーンを撮影するときには、必ず事前に試し撮りすることをおすすめします。なお、静止画の場合には、［オリジナル保存］機能（p. 56）を［入］にすれば、撮影した画像だけでなく、オリジナル画像（色を変える前の画像）も記録できます。

A	ワンポイントカラー	画面内の指定した色のみを残し、それ以外を白黒にして撮影できます。
S	スイッチカラー	画面内の指定した色を別の色に変更して撮影できます。別の色の取り込みは 1 色のみで、複数の色から選択はできません。

● 撮影シーンによっては、ISO 感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。

ワンポイントカラーモードで撮影する

1 ◀▶ ボタンで A（ワンポイントカラー）を選ぶ ◆ ISO ボタン

● 色取り込みモードになり、オリジナルの画像とワンポイントカラーの画像（前回設定した指定色が反映）が交互に表示されます。



2 液晶モニター（またはビューファインダー）の中央の枠内に、残したい色が入るようにカメラを向け、◀ ボタンを押す

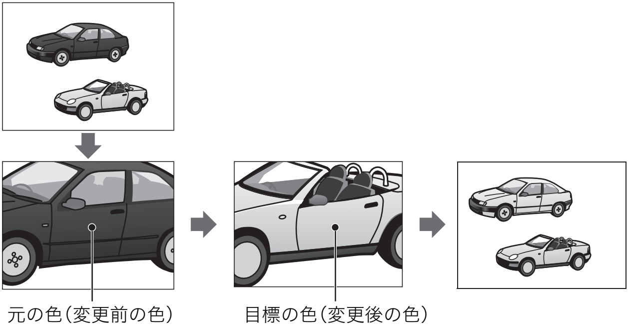
- 指定できるのは1色です。
- ▲▼ボタンで残したい色の取り込み範囲を変更できます（±5段階）。
  −5：残したい色だけを取り込みます。
  ＋5：残したい色に近い色も一緒に取り込みます。

3 ISOボタンで設定を終了し、撮影する

- 動画ボタンを押すと、ワンポイントカラーモードで動画が撮影できます。

- 初期設定色は緑です。
- ストロボを発光して撮影すると、思いどおりの画像にならない場合があります。
- 指定した色と色の取り込み範囲は、電源を切っても記憶されます。

スイッチカラーモードで撮影する



1 ◀▶ボタンで（スイッチカラー）を選ぶ➜ISOボタン

●色取り込みモードになり、オリジナルの画像とスイッチカラーの画像（前回設定した指定色が反映）が交互に表示されます。



2 液晶モニター（またはビューファインダー）の中央の枠内に、元の色が入るようにカメラを向け、◀ボタンを押す

●指定できるのは1色です。

●▲▼ボタンで変えたい色の取り込み範囲を変更できます（±5段階）。
　−5：変えたい色だけを取り込みます。
　+5：変えたい色に近い色も一緒に取り込みます。

3 液晶モニター（またはビューファインダー）の中央の枠内に、目標の色が入るようにカメラを向け、▶ ボタンを押す

●指定できるのは1色です。

4 ISOボタンで設定を終了し、撮影する

●動画ボタンを押すと、スイッチカラーモードで動画が撮影できます。

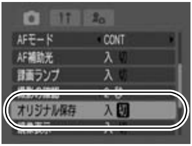
●初期設定では、緑を白に変えて撮影できます。
●ストロボを発光して撮影すると、思いどおりの画像にならない場合があります。
●指定した色と色の取り込み範囲は、電源を切っても記憶されます。

オリジナル画像の保存方法を変更する

ワンポイントカラー、スイッチカラーで静止画を撮影するときは、色を変えた画像だけでなく、オリジナル画像（色を変える前の画像）も記録するかどうかを設定できます。

1 ![camera] （撮影）メニュー ➡ ［オリジナル保存］➡［入］/［切］*

メニュー操作（p. 26）



＊初期設定

● ［入］の場合、画像番号は連番になります。オリジナル画像が早い番号、ワンポイントカラー、スイッチカラーで撮影した画像が後の番号です。

［オリジナル保存］を［入］に設定した場合

● 撮影時に液晶モニター（またはビューファインダー）に表示される画像は、ワンポイントカラー、スイッチカラーで設定している画像だけです。
● 撮影直後に液晶モニター（またはビューファインダー）には、ワンポイントカラー、スイッチカラーで撮影した画像が表示されます。このとき画像を消去すると、オリジナル画像も同時に消去されますので、十分に確認してから消去してください。
● 1 回の撮影で 2 画像記録されるため、液晶モニター（またはビューファインダー）に表示される記録可能画像数は、設定が［切］の場合の半分になります。

● ワンポイントカラー、スイッチカラーで動画を撮影中に、静止画を撮影した場合はオリジナル保存できません。

クリエイティブゾーンで撮る

撮影モード　AUTO SCN P Tv Av M

シャッタースピードや絞り数値を選択するなど、カメラの設定を自由に変えて撮影できます。設定を変更した後の撮影のしかたは、「AUTO 撮影する（オート）（基本編 p. 11）」と同じです。

- 絞り数値とシャッタースピードの関係について（p. 59）
- シャッタースピードを遅くしたり絞り数値を大きくすると、手ぶれしやすくなります。液晶モニター（またはビューファインダー）に赤色で（手ぶれ警告）が点滅したら、以下の方法をお試しください。
  - （手ぶれ補正）機能を使う
  - ISO 感度を上げる
  - ISO ブースターを [入] にする（p. 74）
  - ストロボを上げて、発光させる
  - 三脚を使う

P プログラム AE で撮る

撮影モード　AUTO SCN P Tv Av M

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り数値をカメラが自動的に設定します。

- 適正露出が得られない場合、シャッターボタンを半押ししたときに、シャッタースピードと絞り数値は赤字で表示されます。次の方法で撮影すると、適正露出が得られ、白字で表示されることがあります。
  - ストロボを使用する（ストロボを上げる）
  - ISO感度を変更する
  - ISOブースターを[入]にする（p. 74）

- 同じ露出でシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変えることができます（p. 77）。

Tv シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード	AUTO SCN P **Tv** Av M

シャッタースピードを選ぶと、被写体の明るさに応じて、カメラが適正露出になる絞り数値を自動的に設定します。
シャッタースピードを速くすると動きの速い被写体の瞬間をとらえることができ、シャッタースピードを遅くすると流動感を表現したり、暗いところでもストロボを発光せずに撮影できます。

1 ◀▶ボタンでシャッタースピードを選んで撮影する

- 絞り数値が赤字で表示されたときは、露出アンダー（露出不足）または露出オーバー（露出過多）です。白字で表示されるまで、◀▶ ボタンでシャッタースピードを調節してください。
- シャッタースピードが遅くなると、CCD の特性により撮影した画像にノイズが増えます。このカメラはシャッタースピードが 1.3 秒以上のスローシャッター時に、ノイズを除去する処理を行い高画質で撮影します（ただし次の撮影までにしばらく時間がかかります）。

● ズームによって、絞り数値とシャッタースピードは以下のように変わります。

	絞り数値	シャッタースピード（秒）
ワイド端＊1	F 2.7 ～ 3.5	～ 1/1600
	F 4.0 ～ 5.0	～ 1/2000
	F 5.6 ～ 7.1	～ 1/2500
	F 8.0	～ 1/3200
テレ端＊2	F 3.5 ～ 4.5	～ 1/1600
	F 5.0 ～ 6.3	～ 1/2000
	F 7.1 ～ 8.0	～ 1/2500

＊1 最も広角側
＊2 最も望遠側

● 内蔵ストロボ発光時に有効なシャッタースピードは、最高で 1/500 秒です＊。したがって、あらかじめ 1/500 秒よりも高速のシャッタースピードを設定していても、撮影時に自動的に 1/500 秒以下に再設定されます。
＊ 外付けストロボのときは（p. 160）でご確認ください。

■シャッタースピードの表示

●以下のシャッタースピードに設定できます。1/160は1/160秒を表します。また、0"3 は 0.3 秒を、2" は 2 秒を表しています。

15"　13"　10"　8"　6"　5"　4"　3"2　2"5
2"　1"6　1"3　1"　0"8　0"6　0"5　0"4　0"3
1/4　1/5　1/6　1/8　1/10　1/13　1/15
1/20　1/25　1/30　1/40　1/50　1/60　1/80
1/100　1/125　1/160　1/200　1/250　1/320
1/400　1/500　1/640　1/800　1/1000　1/1250
1/1600　1/2000　1/2500　1/3200

●同じ露出でシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変えることができます（p. 77）。

Av 絞りを決めて撮る

撮影モード	AUTO … SCN … P Tv **Av** M

絞りとは、レンズを通して入ってくる光の量を調節するものです。絞り数値を選ぶと、被写体の明るさに応じてカメラが適正露出になるシャッタースピードを自動的に設定します。
絞り数値を小さくする（絞りを開く）と、背景をぼかした美しいポートレートが撮影できます。
絞り数値を大きくする（絞りを閉じる）と、奥行きのある風景の手前から遠くまでが鮮明に写ります。絞り数値を大きくするほど、鮮明に写る範囲が広くなります。

1 ◀▶ボタンで絞り数値を選んで撮影する

- シャッタースピードが赤字で表示されたときは、露出アンダー（露出不足）または露出オーバー（露出過多）です。白字で表示されるまで、◀▶ ボタンで絞り数値を調節してください。
- ズーム位置によっては選べない絞り数値があります。

- 内蔵ストロボ発光時に有効なシャッタースピードは、最高で 1/500 秒です＊。したがって、あらかじめ絞り数値を設定していても、ストロボ同調するシャッタースピードに応じて、自動的に絞り数値が再設定されることがあります。
  ＊ 外付けストロボのときは（p. 160）でご確認ください。

■絞り数値の表示

- 表示された数値が大きくなるほど、レンズの絞り径は小さくなり、カメラに入る光量が低くなります。

F2.7　F3.2　F3.5　F4.0　F4.5　F5.0　F5.6　F6.3　F7.1
F8.0

- 同じ露出でシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変えることができます（p. 77）。

セーフティシフト / セーフティFE について

セーフティシフト

Tv、**Av** のとき、撮影メニューの[セーフティシフト]を[入]にすると(p. 28)、シャッターボタンを半押ししたときに適正露出を得られない場合には、自動的にシャッタースピードまたは絞り数値をシフトして、適正露出で撮影できます。なお、ストロボ発光時は機能しません。

セーフティFE

P、**Tv**、**Av** でストロボ撮影をするときに、撮影メニューの[セーフティFE]を[入]にすると(p. 28)、ストロボ発光時、露出オーバーで適正露出が得られない場合、自動的に絞り数値やシャッタースピードがシフトして白とびを軽減し、適正露出で撮影できます。

M 自由にシャッタースピード / 絞りを決めて撮る

撮影モード	AUTO SCN P Tv Av **M**

シャッタースピードや絞り数値を自分で決定し、撮影します。

1 **◀▶でシャッタースピードを、▲▼ボタンで絞り数値を選んで撮影する**

- 露出レベルマークで、標準露出*からのずれを確認できます。このずれが±2段を超えると、露出レベルマークが赤で表示されます。また、シャッターボタンを半押しすると、標準露出からのずれが数字で表示されます。このずれが± 2 段を超えると、「−2」または「+2」と赤字で表示されます。

露出レベルマーク



標準露出指標

*設定されている測光方式をもとに測光を行って、標準露出を算出します。

- 数値設定後にズームを調節すると、ズーム位置に応じた絞り数値やシャッタースピードに変更される場合があります。
- 液晶モニター（またはビューファインダー）には、設定した絞り数値とシャッタースピードに応じた明るさで画像が表示されます。速いシャッタースピードを設定した場合や被写体が暗い場合、ストロボを上げて、⚡（常時発光）にするか、外付けストロボを取り付けると（p. 160）、常に明るく表示されます。

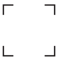
いろいろな撮影機能

⊞AF枠を選択する 📷

撮影モード　AUTO 人物 風景 夜景 スポーツ SCN* 連写 動画 P Tv Av M

＊ 🎆 では設定できません。

オートフォーカス枠（AF 枠）はピントを合わせるための枠です。以下のように AF 枠を選べます。

	顔優先	カメラが自動的に顔の位置を検出し、顔にピントと露出*を合わせます。またストロボ発光時*は、顔の明るさが適正になるように調光します。顔が検出されない場合は、[中央]で撮影されます。 ＊露出とストロボ発光は評価測光時のみ（p. 71）
	中央	中央のAF枠だけが有効になります。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利です。AF枠の位置は移動させることができます(p. 64)。

顔優先 / 中央を選ぶ

1 ⊞ボタンを押す

- ⊞ボタンを押すたびに、［顔優先］/［中央］が切り換わります。



- ［AF 枠移動機能］を［入］にしたとき（p.65）は、⊞ボタンを押しても［顔優先］を選択できません（**P**、**Tv**、**Av**、**M**では、［入］が初期設定となります）。

- シャッターボタンを半押ししたとき、AF 枠の表示は、次のようになります。
  - ・緑色：撮影準備完了
  - ・黄色：ピントが合いにくいとき*

  *AF 枠が［中央］のときのみ表示されます。
- ［顔優先］を選んだときは、以下のとおりです。
  - カメラが顔と認識した位置に枠が最大 3 つまで表示されます。このとき、カメラが主被写体と判断した箇所に白色の枠、そのほかの箇所にグレーの枠が表示されます。シャッターボタンを半押しすると、最大 9 つまで緑色の AF 枠が表示されます。
  - 白色の枠が表示されず、グレーの枠のみが表示された場合は、撮影時には［顔優先］ではなく［中央］で撮影されます。
  - 人物以外の被写体を、カメラが誤って顔と検知することがあります。このときは、［中央］にしてお使いください。
  - 顔が検出されない状況としては、以下のようなことが考えられます。

  ＜主な例＞
    - ・顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るい
    - ・顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れている

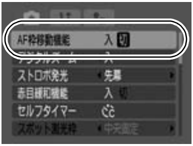
AF 枠を移動する

P、**Tv**、**Av**、**M** のとき、任意の位置に AF 枠を移動できます（アクティブフレームコントロール）。

1 （撮影）メニュー ➔［AF枠移動機能］➔［入］*/［切］

メニュー操作（p. 26）

*初期設定



2 ボタンを押す

- AF枠が緑色で表示されます。

3 人の顔にAF枠を移動させるときは、MENUボタンを押す



4 ▲▼◀▶ボタンでAF枠を移動し、ボタンを押す

- ボタンを押し続けると、AF枠がもとの位置（中央）に戻ります。

- 測光方式が［スポット測光］のときは、AF 枠をスポット測光枠と連動させることができます（p. 71）。
- マニュアルフォーカス中（p. 68）は、選択できません。
- 電源を切る、あるいは再生モードでレンズを収納する（基本編 p. 7）と、AF 枠の位置は中央に戻ります。

フォーカス設定を切り換えて撮る

撮影モード AUTO SCN* P Tv Av M

＊ では［SINGLE］固定となります。

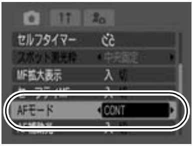
AF モードを設定します。

CONT（コンティニュアス）	シャッターボタンを押さなくても、カメラを向けた位置へ常にピントを合わせます。とっさのシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。
SINGLE（シングル）	シャッターボタンを半押ししたときだけピントを合わせます。通常はピント合わせを行わないため、消費電力を抑えることができます。

1 (撮影)メニュー ➔ [AFモード] ➔ [CONT]*/[SINGLE]

メニュー操作(p. 26)

*初期設定



ピントが合いにくい被写体を撮る(フォーカスロック、AFロック、マニュアルフォーカス)

撮影モード AUTO SCN* P Tv Av M

* では操作できません。

次のような被写体は、ピントが合わないことがあります。

- コントラストが極端に低い被写体
- 近いものと遠いものが混在する被写体
- 画像中央部が極端に明るい被写体
- 高速で移動する被写体
- ガラス越しの被写体:できるだけガラスに近寄り、反射による写り込みのない状態で撮影してください。

フォーカスロックで撮る

1 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離の異なる被写体を、液晶モニター(またはビューファインダー)のAF枠に収める

2 シャッターボタンを半押しし、ピントを合わせる

3 そのままカメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しする

AF ロックで撮る

＊ AUTO、 では操作できません。

1 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離の異なる被写体を、AF枠に収める

2 シャッターボタンを半押ししながら、MFボタンを押す

- MF とMFインジケーターが表示されます。

3 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：MF ボタンを押す

- AF ロックは、シャッターボタンを放して構図を決められるので便利です。また、撮影後も AF ロックされたままなので、同じピントですぐに次の撮影ができます。
- フォーカスロックまたはAFロック撮影をする場合、AF枠を［中央］にすると（p. 63）表示された AF 枠 1 点だけが有効になるので、撮影しやすくなります。
- 、 ではAF枠が表示されないので、ねらった被写体にピントが合うようにカメラを向けてください。

マニュアルフォーカスで撮る

手動でピントを合わせて撮影します。

＊AUTO、（スポーツ）では操作できません。

1 MFボタンを押しながら、▲▼ボタンでピントを合わせる

- MFとMFインジケーターが表示されます。
- （撮影）メニューの［MF拡大表示］が［入］のとき、AF枠を中心に画像が拡大表示*されます。

  ＊（動画）、（スティッチアシスト）、デジタルズーム時、デジタルテレコン時や、テレビに表示しているときは、拡大表示されません。

  ＊拡大表示しない設定にもできます（p. 28)。



MFインジケーター

- MFインジケーターはピント位置の目安です。表示される数値を目安に撮影してください。

解除のしかた：MFボタンを押す

- MFインジケーターの表示単位を変更できます。(p. 32)

マニュアルフォーカスと AF を組み合わせて使う

＊ AUTO、スポーツでは操作できません。

初めにマニュアルフォーカスでおおよそのピントを合わせ、その位置の近傍を自動的にスキャンして、正確なフォーカス位置を検出できます。2 つの方法をお使いになれます。

■SET ボタンを使う

自動で合わせ直したピントを確認してから撮影できます。

1 マニュアルフォーカスでピントを合わせ、SETボタンを押す

- 最もピントの合う位置にピントが自動的に設定されます。

■セーフティMF を使う

マニュアルフォーカスで合わせたピントを、撮影前に正確なフォーカス位置に合わせ直したいときに便利です。

1 （撮影）メニュー ➡ [セーフティMF] ➡ [入]*/[切]

メニュー操作（p. 26）

＊初期設定



2 マニュアルフォーカスでピントを合わせシャッターボタンを半押しする

- 最もピントの合う位置にピントが自動的に設定されます。

3 そのままシャッターボタンを全押しして撮影する

- マニュアルフォーカス中は AF 枠の変更はできません。AF 枠を変更するときは、一度マニュアルフォーカスを解除してください。

フォーカスを自動的に変えて撮る（フォーカスブラケット撮影）

撮影モード　AUTO SCN P Tv Av M

マニュアルフォーカスで設定したピント位置を中心に、設定した前寄りと後ろ寄りのピント位置の順に自動的に 3 画像撮影できます。3 画像は、連続撮影（p. 42）と同じ間隔で撮影されます。
前寄り、後ろ寄りのピント位置は、大・中・小の 3 段階で設定できます。

- ストロボ発光時はフォーカスブラケット撮影ができません。通常の 1 画像撮影になります。

1 FUNC.メニュー ➡ *(BKT-OFF) ➡ (Focus-BKT) ➡ SETボタン

メニュー操作（p. 25）

＊初期設定



2 ◀▶ボタンでピント位置の変更量を設定する

- ▶ボタンを押すと間隔が広くなり、◀ボタンを押すと狭くなって、中心に近い位置でピントを合わせます。



3 FUNC. ボタンで設定を終了し、マニュアルフォーカス（p. 68）で撮影する

解除のしかた：手順 1 で (BKT-OFF) を選択する

測光方式を切り換える

撮影モード　AUTO　SCN　**P Tv Av M**

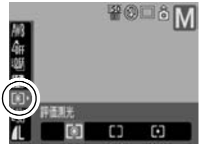
[評価測光アイコン]	評価測光		画面内を多分割して測光します。画面内の被写体の位置、明るさ、順光、逆光など複雑な光の要素をカメラが判断し、主被写体を常に適正な露出で撮影します。
[中央部重点平均測光アイコン]	中央部重点平均測光		画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
[スポット測光アイコン]	スポット測光		「スポット測光枠」内を測光します。画面中央の被写体に露出を合わせたいときに利用します。
		中央固定	スポット測光枠を液晶モニター(またはビューファインダー)中央部に固定します。
		AF 枠連動	スポット測光枠を AF 枠に連動させます。

1 FUNC.メニュー→ [評価測光アイコン] *(評価測光)

メニュー操作（p. 25）

＊初期設定

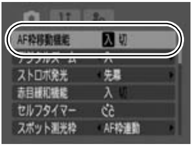
● ◀▶ボタンで測光方式を選び、FUNC.ボタンを押します。



スポット測光枠を中央固定にする /AF 枠に連動させる

1 [撮影アイコン](撮影)メニュー→[AF 枠移動機能]→[入]を選ぶ

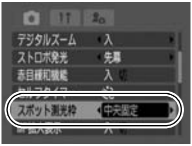
メニュー操作（p. 26）



2 撮影画面に戻り、⊡ボタンを押して[中央]を選ぶ

3 ⊙(撮影)メニュー➡[スポット測光枠]➡[中央固定]*/[AF枠連動]

メニュー操作(p. 26)



*初期設定

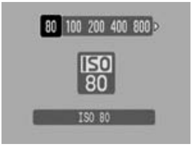
- [中央固定]のときは液晶モニター(またはビューファインダー)中央にスポット測光枠([ ])が表示されます。AF枠は別の位置に動かすことができます。
- [AF枠連動]のときは移動させたAF枠にスポット測光枠が表示されます。

ISO ISO感度を変更する

撮影モード	AUTO SCN P Tv Av M

暗いところで手ぶれを抑えたり、被写体ぶれを抑えるためにシャッタースピードを速くしたいとき、あるいはストロボをオフにして撮影したいときには、ISO 感度を上げます。

1 **ISOボタンを押し、◀▶ボタンを押して切り換える**



- 撮影モードが AUTO のときは、ISO AUTO、ISO HI のみ選択できます。
- ISO AUTO（オート）を選ぶと、撮影時の明るさに応じて最適な感度に設定されます。暗いところでは自動的に感度が上がるためシャッタースピードが速めになり、手ぶれが低減されます。
- ISO HI（高感度オート）*を選ぶと、ISO AUTO よりも感度が高めに設定されます。そのため、シャッタースピードがより速めになり、同じシーンを撮影しても ISO AUTO に比べ、手ぶれや被写体ぶれが低減されます。

  ＊ ISO AUTO に比べて撮影画像にノイズが増えることがあります。

ISO 感度 ＼ 撮影モード		AUTO	P	Tv	Av	M
AUTO	ISO AUTO	○*	○*	○*	○*	—
HI	ISO HI	○	○	—	—	—
80	ISO 80	—	○	○	○	○*
100	ISO 100	—	○	○	○	○
200	ISO 200	—	○	○	○	○
400	ISO 400	—	○	○	○	○
800	ISO 800	—	○	○	○	○
1600	ISO 1600	—	○	○	○	○

○：設定可

＊初期設定

- ISO 感度を変更できない撮影モードのときは、ISO 感度オートに固定されます。
- ISO AUTO または ISO HI に設定した場合、シャッターボタンを半押ししたときや再生情報には、カメラが自動的に設定した ISO 感度が表示されます。
- 高いISO感度で撮影する場合には、カメラが自動的にノイズを低減する処理を行います。

ISO感度をワンタッチで変更する (ISOブースター)

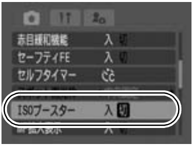
撮影モード	AUTO SCN P Tv Av M

撮影時に手ぶれ警告（ ）が表示されたとき、ボタンを押すだけで ISO 感度を上げ、手ぶれしにくいシャッタースピードで撮影することができます。

1 （撮影）メニュー ➔ [ISOブースター] ➔ [入]/[切]*

メニュー操作（p. 26）

*初期設定



2 シャッターボタンを半押しする

- が表示されると、ボタンが青色に点滅します（ただし、ビューファインダー表示のときは、点滅しません）。



3 **シャッターボタンを半押ししたまま、🖨〜ボタンを押す。🖨〜ボタンが点灯に変わったら、そのままシャッターボタンを全押しする**

- シャッターボタンを半押しした状態で、再度🖨〜ボタンを押すと、ISO感度が元の設定に戻ります。
- ISO感度が上がった後にAEロック（p. 76）をすると、シャッターボタンを放しても、ISO感度変更モードは解除されません（AEロックを解除するまでボタンが青色に点灯します）。

- ISO HI、ISO 800、ISO 1600のとき、およびストロボ発光時は設定できません。
- 撮影の状況によっては、ISO 感度を上げても、手ぶれ警告アイコン（ ）が消えないことがあります。

露出を補正する

撮影モード　AUTO SCN* P Tv Av M

＊ では設定できません。

逆光や背景が明るい場所での撮影で、被写体が暗くなってしまう場合は＋側に、夜景や背景が暗い場所での撮影で被写体が明るくなってしまう場合は－側に、露出を補正します。

1 ボタンを押す

メニュー操作（p. 25）



- ◀▶ ボタンで露出を補正し、ボタンを押します。
- AEB 撮影（p. 79）するときの補正量がグレーで表示されます。

解除のしかた：補正値を「0」に戻す

- のときは、露出シフトの設定 / 解除ができます（p. 47）。

露出を固定して撮る（AEロック）

撮影モード　AUTO SCN P Tv Av M

露出とピントを別々に決めて撮影できます。被写体と背景のコントラストが極端に強いときや、逆光下での撮影などに有効です。

- ストロボは必ず に設定し、ストロボを発光させないでください。ストロボが発光すると、AE ロックできません。

1 露出を固定したい被写体にピントを合わせる

2 シャッターボタンを半押ししながら、ISOボタンを押す

- 露出が固定されます。
- 液晶モニター（またはビューファインダー）には✱が表示されます。

3 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：ISO 以外のボタンを操作する

- 🎥 のときは、AE ロック後、露出シフトができます(p. 47)。
- ストロボをお使いのときは FE ロック(p. 78)で撮影してください。

シャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変える

自動的に設定されたシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを、同じ露出のままで自由に変えて撮影できます（プログラムシフト）。

1 露出を固定したい被写体にカメラを向ける

2 シャッターボタンを半押しながら、ISOボタンを押す

- 露出が固定され、✱が表示されます。



3 ◀▶ ボタンでシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変える

4 構図を決め直して撮影する

● 撮影が終了し、設定は解除されます。

● (ムービー) ではお使いになれません。

FEロックで撮る

撮影モード AUTO … SCN … P Tv Av M

被写体が構図のどこにあっても、適正な露出でストロボ撮影ができます。

1 ストロボを上げる

2 ボタンを押して、(常時発光)を選ぶ

● 外付けストロボをお使いの場合は、お使いのストロボの取扱説明書をご覧ください。

3 露出を固定したい被写体にピントを合わせる

4 シャッターボタンを半押ししながら、ISOボタンを押す

● ストロボがプリ発光し、露出が固定されます。

● 液晶モニター（またはビューファインダー）には✱が表示されます。

5 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：▼◀▶ 以外のボタンを操作する

● ［ストロボ自動調光］が［切］のときは、FE ロックできません（p. 85）。

露出を自動的に変えて撮る（AEB撮影）

撮影モード　AUTO SCN P Tv Av M

設定した露出補正量の幅でカメラが自動的に露出を変えながら、連続撮影（p. 42）と同じ間隔で 3 画像撮影します。標準露出、マイナス補正、プラス補正の順で撮影します。

1 FUNC.メニュー➧ * (BKT-Off) ➧ (AEB) ➧SETボタン

メニュー操作（p. 25）

＊初期設定



2 ◀▶ボタンで露出の補正量を調整する

- 補正量は、標準露出を中心に－ 2 ～＋2の範囲で1/3段ずつ設定できます。なお、すでに露出補正（p. 76）をしている場合は、その設定値を中心に設定できます。



AEB 撮影時の補正量

解除のしかた：手順 1 で (BKT-Off) を選択する

- ストロボ発光時はAEB 撮影ができません。通常の1画像撮影になります。

色合いを調整する（ホワイトバランス）

撮影モード	AUTO SCN P Tv Av M

通常は、AWB（オート）で最適なホワイトバランスが自動設定されます。AWBで自然な色合いにならないときは、ホワイトバランスを変更し、撮影時の光源に合った適正な色で撮影します。

1 FUNC.メニュー ➜ AWB*（オート）

メニュー操作（p. 25）

＊初期設定

- ◀▶ボタンでホワイトバランスを選び、FUNC.ボタンを押します。



ホワイトバランスの種類

AWB	オート	自動設定
	太陽光	晴天の屋外
	くもり	曇天や日陰、薄暮
	電球	電球、電球色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	蛍光灯 H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ(3 波長型)の蛍光灯
	ストロボ	ストロボ使用時（ では設定できません）
	マニュアル	白い紙や布など白を基調としたものを取り込んで、最適な白データとしてカメラに記憶させてから撮影できます。

- マイカラーが や の場合は、ホワイトバランスは設定できません。

マニュアルホワイトバランスを使うには

白い紙や布など、基準としたい白色をカメラに記憶させ、その撮影状況下で最適なホワイトバランスを設定できます。
特に次のような場合、AWB（オート）では、ホワイトバランスが調整できないことがありますので、（マニュアル）で白データを取り込んでから撮影してください。
・至近距離（マクロ）で撮影するとき
・単一な色の被写体（空、海、森など）を撮影するとき
・水銀灯などの特殊な光源で撮影するとき

1 FUNC.メニュー → AWB *（オート）→ （マニュアル）

メニュー操作（p. 25）

＊初期設定



2 白い紙や布にカメラを向け、SETボタンを押す

- 中央の枠いっぱいに白い紙や布を表示させてください。ただし、デジタルズーム使用時は、中央の枠が表示されません。

- 撮影モードを**P**にし、露出補正、ストロボ調光補正とともに± 0 にすることをおすすめします。適正露出でない場合（真っ黒や真っ白）は、白データを正しく取り込めないことがあります。
- 白データを取り込んだときと同じ条件で撮影してください。条件が異なると、最適なホワイトバランスが設定できないことがあります。特に以下の条件は変更しないでください。
  - ISO 感度
  - ストロボ：常時発光または発光禁止にしておくことをおすすめします。[オート］で、白データ取り込みの際にストロボが発光した場合は、撮影時もストロボを発光させてください。
- では、白データの取り込みはできません。あらかじめ他の撮影モードで白データを取り込んでおいてください。

マイカラーで撮る

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

画像の印象を変えて撮影できます。

マイカラーの種類

OFF	マイカラー切	通常設定
V	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し､くっきりした色合いにする。
N	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え､すっきりとした色合いにする。
Se	セピア	セピア色にする。
BW	白黒	白黒にする。

	ポジフィルムカラー	「あざやかブルー」・「あざやかグリーン」・「あざやかレッド」の効果を合わせたもので、青、緑、赤色をより鮮やかにする。ポジフィルムのようにナチュラルで色鮮やかな画像が撮影できます。
	色白肌*	人物の肌を色白にする
	褐色肌*	人物の肌を褐色にする
	あざやかブルー	青色を強調する。空や海などの青い被写体をより鮮やかに撮影できます。
	あざやかグリーン	緑色を強調する。山や新緑、草花、芝生などの緑の被写体をより鮮やかに撮影できます。
	あざやかレッド	赤色を強調する。赤い花や赤い車などの赤い被写体をより鮮やかに撮影できます。
	カスタムカラー	コントラスト / シャープネス / 色の濃さを調節したり、赤 / 緑 / 青 / 肌色*のバランスを変更したりして撮影する。「青色をもう少し鮮やかに」や「顔色をもう少し明るく」といった微調整ができます。

＊被写体に人物以外の肌色が含まれている場合は、その被写体の色も変更されることがあります。また、肌の色によっては、効果が現れない場合があります。

1 FUNC.メニュー➜ *（マイカラー切）

メニュー操作（p. 25）



＊初期設定

- ◀▶ボタンでマイカラーモードを選びます。
- **のとき**
  「カスタムカラーモードに設定する」（p. 84）をご覧ください。
- **以外のとき**
  FUNC.ボタンを押して撮影画面に戻り、撮影します。

2 撮影する

カスタムカラーモードに設定する

1 🅲 (カスタムカラー) ➜ SETボタン

メニュー操作 (p. 25)



2 ▲▼ボタンで[コントラスト]、[シャープネス]、[色の濃さ]、[赤]、[緑]、[青]、[肌色]のいずれかを選び、◀▶ボタンで調整する

- 調整結果が表示されます。



3 SETボタンを押す

- 設定を終了します。

ストロボの自動調光設定を切り換える

撮影モード　AUTO SCN P **Tv Av** M

内蔵ストロボと外付けストロボ*は自動調光で発光されます（**M**を除く）が、自動調光しないように設定することもできます。

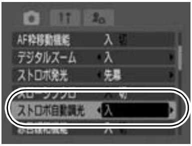
＊スピードライト 220EX/430EX/580EX II

1 **（撮影）メニュー ➡ [ストロボ自動調光] ▶ [入]*/[切]**

メニュー操作（p. 26）

＊初期設定

● [切] のときは [ストロボ発光量] の補正ができます（下記）。



ストロボ調光量／発光量を補正する

撮影モード　AUTO SCN **P Tv Av M**

ストロボ調光補正	・撮影モードが、**P**のとき、または**Tv**、**Av**で[ストロボ自動調光]が[入]のとき(p. 85)、標準調光を中心に－２～＋２の範囲で 1/3 段ずつ変更できます。 ・カメラの露出補正と併用することにより、背景の露出も補正したストロボ撮影ができます。
ストロボ発光量	・撮影モードが**M**、または**Tv**、**Av**で[ストロボ自動調光]が[切]のとき(p. 85)、ストロボの発光量をフル発光まで 3 段階で制御して撮影できます。外付けストロボ装着時は、外付けストロボの発光量を制御(1/1(フル発光)から 1/64 まで、1/3 段ずつ)できます。

いろいろな撮影機能

1 FUNC. メニュー ➜ (ストロボ調光補正)/ (ストロボ発光量)

メニュー操作(p. 25)

＊初期設定

- ◀▶ ボタンで補正量 / 発光量を選び、FUNC.ボタンを押します。



ストロボ自動調光が[入]のとき



ストロボ自動調光が[切]のとき

ストロボ発光のタイミングを切り換える

撮影モード	AUTO SCN P Tv Av M

先幕	シャッタースピードにかかわらず、シャッターが開いた直後にストロボが発光します。通常はこちらで撮影します。
後幕	シャッターが閉じる直前にストロボが発光します。ストロボ発光のタイミングが先幕発光より遅くなり、車のライトが後方に流れるような画像を撮影できます。

1 (撮影)メニュー ➜ [ストロボ発光] ➜ [先幕]*/[後幕]

メニュー操作(p. 26)



先幕設定で撮影した画像



後幕設定で撮影した画像

＊初期設定

C カスタム登録する

撮影モード　AUTO SCN **P Tv Av M**

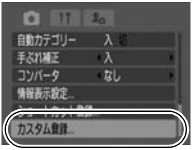
よく使う撮影モードや撮影時のさまざまな設定を、あらかじめ**C**（カスタム）に登録しておくことができます。必要なときにモードダイヤルを**C**に合わせるだけで、事前に登録した設定内容で撮影できます。他の撮影モードに切り換えたり、電源を切ると解除されてしまう設定（連続撮影、セルフタイマーなど）も保持されます。

1 登録したい撮影モードにして内容を設定する

- **C**に登録できる機能
  - 撮影モード（**P**、**Tv**、**Av**、**M**）
  - **P**、**Tv**、**Av**、**M**で設定可能な項目（p. 191）
  - 撮影メニューの設定内容
  - ズーム位置
  - マニュアルフォーカス位置
- **C**に登録した設定の一部（撮影モード以外）を変更するときは、**C**を選びます。

2 （撮影）メニュー→［カスタム登録］

メニュー操作（p. 26）



3 ［OK］→SETボタン

- 設定内容は、他の撮影モードには反映されません。
- 登録内容をリセットできます（p. 33）。

ショートカットボタンを登録する

撮影モード	AUTO SCN P Tv Av M

撮影時によく使う機能を（ショートカット）ボタンに 1 つだけ登録できます。
登録できる機能は以下のとおりです。

項目	参照先
無効*	−
測光方式	p. 71
WB ホワイトバランス	p. 80
マニュアル WB（ホワイトバランス）	p. 81

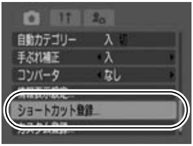
項目	参照先
デジタルテレコン	p. 38
AEL AE ロック	p. 76
AFL AF ロック	p. 67
ディスプレイオフ	p. 31

＊初期設定

機能を登録する

1 （撮影）メニュー➜［ショートカット登録］

メニュー操作（p. 26）



2 ▲▼◀▶ボタンで登録したい機能を選ぶ➜SETボタン

- アイコンの右下にが表示されている場合、機能の登録はできますが、現在の撮影モードのままでショートカットボタンを押しても無効となります。



モードダイヤルを AUTO にしているとき



解除のしかた：手順 2 でを選択する

ショートカットボタンを使う

1 ボタンを押す



- ボタンを押すたびに、登録されている機能の設定値が切り換わります。
  - WB、は設定画面が表示されます。
  - は、ボタンを押すたびに白データを取り込みます。なお、このとき枠は表示されないので、液晶モニターの中央になるように白い紙や布を置いてからボタンを押してください。
  - AELは、ボタンを押すと AE ロックします＊。また、動画撮影＊＊のときは、AEをやり直してロックします（露出シフトはできません）。
  - AFLは、ボタンを押すと AF ロックします＊。また、動画撮影のときは、AFをやり直してロックします。
  - は、ボタンを押すと液晶モニター（またはビューファインダー）の表示を消せます。次の操作のためにボタン操作をするとつきます。

  ＊　1画像撮影すると解除されます。
  ＊＊露出シフトバーが表示されているときは操作できません。
- 現在の撮影モードで無効となる機能が設定されている場合は、ボタンを押しても無効となります。

いろいろな撮影機能

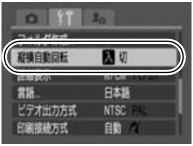
縦横自動回転の設定をする

撮影モード　AUTO ・ SCN ・ P Tv Av M

このカメラには SI（Super Intelligent）センサーが装備されており、縦位置で撮影した画像は、再生時に正しい縦位置に回転して表示されます。

1 (設定)メニュー ➔ [縦横自動回転] ➔ [入]*/[切]

メニュー操作（p. 26）



＊初期設定

- 撮影時に縦横自動回転を［入］にすると、［撮影情報］を表示設定（p. 15）にしているとき、液晶モニター（またはビューファインダー）に、(通常)、(右が下)、または(左が下）が表示されます。

- カメラを真上や真下に向けて撮影すると、正しく機能しない場合があります。アイコン（ ）を確認し、正しく天地を判断しない場合は、［切］にしてお使いください。
- 縦横自動回転の設定が［入］のときに縦位置で撮影した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては、回転結果が反映されないことがあります。

- このカメラは、SI センサーにより、縦位置で構えて撮影する場合、上側を「天」、下側を「地」と判断し、縦位置に最適なフォーカス、露出、ホワイトバランス制御を行います。この機能は、縦横自動回転の入 / 切に関係なく有効です。

画像の保存先（フォルダ）を作成する

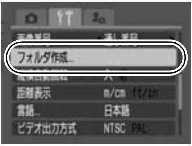
撮影モード　AUTO　SCN　P Tv Av M

任意のタイミングで新しいフォルダを作成できます。撮影した画像は、そのフォルダ内に自動的に保存されます。

新規作成	次回撮影時に新しいフォルダを作成します。また新しいフォルダを作成したい場合には、再度チェックマークをつけてください。
自動作成	指定した日時以降の撮影時に、新しいフォルダを作成したい場合、日時を指定します。

1 （設定）メニュー→［フォルダ作成］

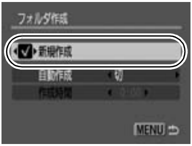
メニュー操作（p. 26）



次回撮影時にフォルダを作成する

2 ［新規作成］に◀▶ボタンでチェックマークをつける→MENUボタン

- 撮影時、液晶モニター（またはビューファインダー）にが表示されます。フォルダが作成されると、表示は消えます。



指定した日時にフォルダを作成する

2 [自動作成]で作成日を選び、[作成時間]で時刻を設定する➡MENUボタン

- 指定した時間になると、液晶モニター（またはビューファインダー）に が表示されます。フォルダが作成されると、表示は消えます。



- 1つのフォルダに最大2000画像まで保存されます。新規にフォルダを作成しなくても、2000 画像を超えると、新しいフォルダが自動的に作成されます。

画像番号をリセットする

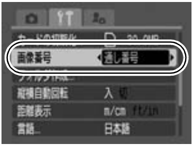
撮影モード	AUTO SCN P Tv Av M

撮影した画像には、自動的に画像番号がつきます。その画像番号の設定方法を選択します。

1 (設定)メニュー➡[画像番号]➡[通し番号]*/[オートリセット]

メニュー操作（p. 26）

＊初期設定

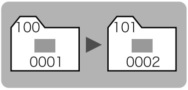
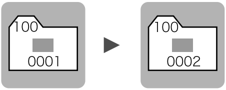
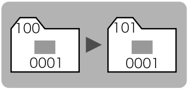
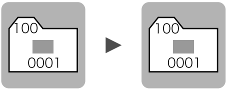


画像番号リセット機能について

通し番号	最後に撮影した画像の続き番号が次の画像につけられます。そのため、フォルダを変更したり、メモリーカードを交換*したりしても、画像番号が重複しません。パソコンで画像をまとめて管理する場合に便利です。 * 新規のメモリーカードに交換時。記録済みのメモリーカードを入れたときは、最後に撮影した画像のフォルダ番号と画像番号を合わせた 7 桁の番号を比べ、大きいほうの番号を引き継ぎます。
オートリセット	フォルダ番号、画像番号が初期値(100-0001)に戻ります*。フォルダ単位で管理する場合に便利です。 * 新規のメモリーカードに交換時。記録済みのメモリーカードを入れたときは、そのメモリーカードに記録されている画像のフォルダ番号と画像番号を合わせた 7 桁の番号の続きの番号になります。

画像番号およびフォルダ番号について

撮影した画像には、0001 ～ 9999 までの画像番号が割り振られ、各フォルダには、100 ～ 999 までの番号が割り振られます。
1 つのフォルダには、2000 画像ずつ保存されます。

	フォルダを新規に作成した場合	他のメモリーカードに交換した場合
通し番号	メモリーカード 1 	メモリーカード 1　メモリーカード 2 
オートリセット	メモリーカード 1 	メモリーカード 1　メモリーカード 2 

- 次の設定で撮影した画像は、必ず 1 つのフォルダに保存されるため、2000 画像に満たなくても、十分な空きがない場合には、新しいフォルダに保存される場合があります。
  - 連続撮影
  - セルフタイマー（カスタムの場合）
  - 動画（動画撮影中に静止画を撮影した場合）
  - スティッチアシスト
  - フォーカスブラケット撮影
  - AEB撮影
  - 静止画のワンポイントカラー /スイッチカラー（[オリジナル保存］が［入］の場合）
- 同じフォルダ番号や、フォルダ内に同じ画像番号が複数あるときは、再生できません。
- フォルダの構造や画像のタイプについては、ソフトウェアクイックガイドでご確認ください。

再生 / 消去する

基本編（p. 20）もご確認ください。

拡大して見る

1 ズームレバーを 側に押す

- が表示され、拡大表示になります。
- ズームレバーで倍率を変更できます。
- 画像を最大約10倍まで拡大して表示できます。



表示位置の目安

2 ▲▼◀▶ボタンで表示位置を変更する

- 拡大再生中に SET ボタンを押すと、画像送りモードになり、 が表示されます。◀▶ボタンで拡大したまま前または次の画像を表示できます。再度 SET ボタンを押すと、画像送りモードを解除します。

解除のしかた：ズームレバーを 側に押す（MENU ボタンを押すと、すぐに解除できます。）

- 動画、インデックス再生時は、拡大表示できません。

9画像ずつまとめて見る(インデックス再生)

1 **ズームレバーを側に押す**

- 9画像ずつ表示されます。
- ▲▼◀▶ボタンで選択画像を切り換えます。



解除のしかた：ズームレバーを側に押す

9 画像ずつ表示を切り換える

インデックス再生中にボタン押すと、ジャンプバーが表示され、9画像ずつ表示の切り換えができます。

- ズームレバーを側に押しても切り換えできます。◀▶ ボタンで前または次の9画像を表示します。
- SET ボタンを押しながら ◀▶ ボタンを押すと、最初または最後の9画像を表示します。

解除のしかた：ボタンを押す



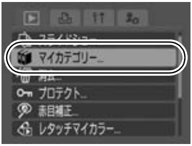
カテゴリーに分けて管理する（マイカテゴリー）

画像を、あらかじめ用意されているカテゴリー（人物、風景、イベント、カテゴリー1 ～ 3、作業用）に分類し、カテゴリー単位で管理することができます。［自動カテゴリー］で記録された（p. 28）、カテゴリー情報も編集できます。カテゴリー単位に次の操作が行えます。

・画像検索（p. 98）　・スライドショー（p. 113）
・プロテクト（p. 117）　・消去（p. 120）　・印刷指定（p. 123）

1　**（再生）メニュー ➡**

メニュー操作（p. 26）



- 再生モードのとき ボタンを押すと、すぐに手順2の画面を表示できます。

2　**◀▶ボタンでカテゴリーで分類する画像を選び、▲▼ボタンでカテゴリーの種類を選んでSETボタンを押す**



- 1つの画像を複数のカテゴリーに分類することができます。
- インデックス再生にしても設定できます。
- 再度SETボタンを押すと設定を解除できます。

- 消去や印刷、スライドショーなどの画像を管理するときは、［作業用］に分類すると便利です。
- 動画もカテゴリー分類できます。

目的の画像にジャンプする

メモリーカードにたくさんの画像を記録しているときは、次の検索キーでジャンプしながら目的の画像を探し出すと便利です。

	日付	各撮影日の先頭画像を表示する
	マイカテゴリー	各カテゴリーの先頭画像を表示する
	フォルダ	各フォルダの先頭画像を表示する
	動画	動画を表示する
	10 枚	画像を 10 枚ずつ飛ばして表示する
	100 枚	画像を 100 枚ずつ飛ばして表示する

1 シングル再生時に、ボタンを押す

- 検索ジャンプモードになります。

2 ▲▼ボタンで検索キーを選ぶ

- 検索キーによって、画面例は若干異なります。
- DISP.ボタンで、画像情報の表示/非表示の切り換えができます。

画像情報



3 画像を表示する

- [icon]/[icon]：
  - ◀▶ボタンを押します。
  - MENUボタンを押すと解除します。
- [icon]/[icon]/[icon]/[icon]：
  ◀▶ボタンで再生したい日付、カテゴリー、フォルダ、動画を選び、SETボタンを押します。
  - 絞込み再生モードに変わり、青い枠が表示されます。検索キーで指定した画像だけを再生できます。
  - [icon]ボタンを押すと、絞込み再生モードを解除します。



- 以下の場合には、絞込み再生モードは解除されます。
  - カテゴリー分けするとき
  - レタッチマイカラーで効果をつけた画像、赤目補正を行った画像、あるいは編集した動画を新規保存するとき
  - [▶]（再生）メニューの［消去］から、画像を消去したとき

動画を見る

- インデックス再生時は、動画は再生できません。

1 動画を表示し、SETボタンを押す

- SET [icon] の表示されている画像が動画です。
- 動画再生パネルが表示されます。



2 ▶（再生）を選び、SETボタンを押す

- 再生中にSETボタンを押すと、再生が一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。
- 再生が終了すると、最終フレームが表示されたままで停止します。SET ボタンを押すと、再度、動画再生パネルが表示されます。
- 動画再生中に DISP. ボタンを押すと、再生バーの表示 / 非表示の切り換えができます。
- 前回、再生を途中で中断した場合は、最後に再生したフレームが表示されます。

動画再生パネルの操作

↩	シングル再生に戻る
🖶	動画の印刷（プリンター接続時にアイコンが表示されます。詳細はダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。）
▶	再生
▌▶	スロー再生（スロー再生の速度は、◀ボタンで遅く、▶ボタンで速くできます。）
⏮	先頭フレームを表示
◀▌	フレーム戻し（SET ボタンを押し続けると早戻しします。）
▌▶	フレーム送り（SET ボタンを押し続けると早送りします。）
⏭	最終フレームを表示
✂	編集（動画編集モードに切り換えます。）（p. 101）

- テレビで動画を再生するときの音量は、テレビで調節してください（p. 119）。
- スロー再生中、音声は再生されません。

動画を編集する

撮影した動画の一部分を削除できます。

- 編集前の長さが1秒以上の動画を1秒単位で編集できますが、プロテクトされている動画、撮影時間が 1 秒未満の動画は編集できません。

1 動画再生パネルの（編集）を選び、SETボタンを押す

- 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。

動画編集パネル



動画編集バー

2 ▲▼ボタンで（前部を削除）または（後部を削除）を選び、◀▶ボタンで削除する位置（）を指定する

- 仮編集した動画を確認するときは、（再生）を選んでSETボタンを押します。
- （終了）を選ぶと動画編集を中止し、動画再生パネルに戻ります。

3 （保存）を選び、SETボタンを押す

4 [新規保存]または[上書き保存]を選び、SETボタンを押す

- [新規保存]：新しいファイル名をつけて保存します。編集前のデータは残ります。保存中にSETボタンを押すと、保存を中止できます。
- [上書き保存]：編集前の画像と同じファイル名で保存されます。編集前のデータは残りません。

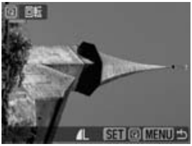


- メモリーカードの空き容量が足りないときは、上書き保存しかできません。このとき動画編集バーのカウンターの左側に▲が表示されます。

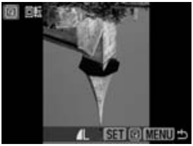
- 編集した動画を保存するとき、ファイルの容量によっては時間がかかる場合があります。途中で電池がなくなると、編集した画像が保存できないことがありますので、動画を編集するときは別売の、フル充電の単 3 形ニッケル水素電池またはコンパクトパワーアダプターCA-PS700（別売）をお使いになることをおすすめします（p. 155）。

回転して表示する

時計方向に 90 度、270 度に回転して表示します。



元画像



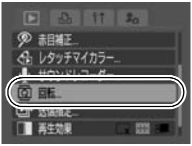
90 度



270 度

1 **(再生)メニュー →**

メニュー操作 (p. 26)



2 **◀▶ボタンで回転する画像を選び、SETボタンを押して回転する**

- SET ボタンを押すたびに、90 度→ 270 度→元画像が表示されます。
- インデックス再生にしても設定できます。

- カメラで回転した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。

効果をつけて再生する

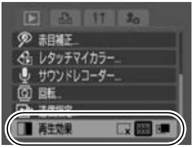
画像の切り換え時に使用する効果を選択できます。

	効果なし
	表示中の画像が暗くなり、次の画像が徐々に明るく表示されます。
	◀ボタンを押すと左側から前の画像が、▶ボタンを押すと右側から次の画像が表示されます。

1 **(再生)メニュー ➔ ➔ / */**

メニュー操作（p. 26）

*初期設定



赤目を補正する

目が赤く写ってしまった画像の赤目の部分を補正できます。
ただし、画像によっては赤目が自動的に検出されなかったり、思い通りに補正されない場合があります。

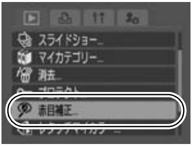
＜主な例＞

●顔が画面の端にある、または画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るい

●顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れている

1 (再生)メニュー ➡

メニュー操作（p. 26）



2 ◀▶ボタンで補正する画像を選び、SETボタンを押す

● 自動的に赤目を補正する位置に、枠が表示されます。

● 赤目が自動的に検出されなかった場合は、◀▶ボタンで［補正枠の追加］を選び、SETボタンを押します（p. 107）。



3 ［補正実行］を選び、SETボタンを押す



4 [新規保存]または[上書き保存]を選び、SETボタンを押す



- [新規保存]：新しいファイル名をつけて保存します。補正前の画像は残ります。新規に保存された画像は、撮影した画像の一番最後に保存されます。
- [上書き保存]：補正前の画像と同じファイル名で保存されます。補正前の画像は残りません。
- [新規保存] の場合は、手順5へ進みます。

5 MENU ボタンを押し、[はい]または[いいえ]を選んでSETボタンを押す

- [はい] の場合は赤目補正した画像が表示され、[いいえ] の場合は再生メニューに戻ります。

- 動画は赤目補正できません。
- プロテクトされている画像は、上書き保存できません。

- メモリーカードの空き容量が足りないときは、赤目補正はできません。
- 何度でも赤目補正を行うことができますが、画質が低下することがあります。
- 一度赤目補正を行った画像は、自動的に補正枠は表示されません。[補正枠の追加] を選択してください。

補正枠を追加する

補正枠は、35 個まで追加できます。

1 ◀▶ボタンで[補正枠の追加]を選び、SETボタンを押す



2 ▲▼または◀▶ボタンで枠の位置を合わせて、SETボタンを押す

- ズームレバーで枠の大きさを変えられます。



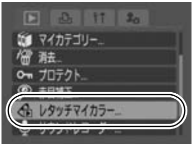
レタッチマイカラーで効果をつける

撮影した画像に、レタッチマイカラーで効果をつけることができます（静止画のみ）。レタッチマイカラーの種類は次のとおりです。効果の詳細は p. 82 をご覧ください。

	くっきりカラー		色白肌
	すっきりカラー		褐色肌
	セピア		あざやかブルー
	白黒		あざやかグリーン
	ポジフィルムカラー		あざやかレッド

1 (再生)メニュー ➧

メニュー操作（p. 26）



2 ◀▶ボタンで効果をつける画像を選び、SETボタンを押す



3 ◀▶ ボタンで効果をつけたいレタッチカラーの種類を選び、SETボタンを押す

- レタッチマイカラーで効果をつけた画像が表示されます。
- ズームレバーを 側に押すと、拡大して確認できます。拡大表示中は、SETボタンでレタッチマイカラーで効果をつけた画像と効果がついていない元画像の切り換えができます。



4 [OK]を選び、SETボタンを押す

- 新規に保存されたレタッチマイカラーで効果をつけた画像は、撮影した画像の一番最後に保存されます。
- 引き続き、他の画像に効果をつけたい場合は、手順2から操作を繰り返します。



5 MENU ボタンを押し、[はい]または[いいえ]を選んでSETボタンを押す

- [はい]の場合はレタッチマイカラーで効果をつけた画像が表示され、[いいえ]の場合は再生メニューに戻ります。



- メモリーカードの空き容量によっては、レタッチマイカラーで効果をつけることができません。
- レタッチマイカラーで効果をつけた画像に、何度でもレタッチマイカラーで効果をつけることができますが、画質は徐々に低下したり、思いどおりの色にならないことがあります。
- マイカラーで撮影した画像（p. 82）と、再生時にレタッチマイカラーで効果をつけた画像は、画像の色味が若干異なる場合があります。

音声メモをつける

画像の再生中（シングル再生、インデックス再生、拡大再生、撮影直後の画像表示中（基本編 p. 10）、撮影直後のピントの確認中（p. 44））に、最長 1 分の音声メモをつけることができます。音声データは WAVE タイプ（ステレオ）で保存されます。

1 画像再生中にボタンを押す

- 音声メモパネルが表示されます。

2 ◀▶ボタンで○(録音)を選び、SETボタンを押す

- 録音時間と録音可能時間が表示されます。
- SETボタンを押すと録音を一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。
- 1 画像につき、合計が 1 分に達するまで音声メモを追加できます。
- 録音の機能を設定できます (p. 50)。



音声メモパネル の操作

↩	設定を終了します。
○	録音
■	停止
▶	再生
消去アイコン	消去 表示される画面で[消去]を選び、SET ボタンを押します。
音量アイコン	音量(0 ～ 5 段階)

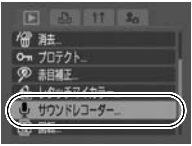
- 動画には音声メモをつけられません。
- プロテクトされている画像の音声メモは消去できません。

音声だけを記録する（サウンドレコーダー）

画像を記録せず、音声だけを最長約 2 時間連続してステレオ録音できます。

1 (再生)メニュー ➡

メニュー操作（p. 26）



2 (録音)を選び、SETボタンを押す



- 録音時間が表示されます。
- ▲▼ボタンでサンプルレートを変更できます。[11.025kHz]、[22.050kHz]、[44.100kHz]＊の順に音質は良くなりますが、記録されるファイル容量は大きくなります。
  ＊初期設定
- SETボタンを押すと録音を停止します。再度ボタンを押すと新しく録音が開始されます。
- シャッターボタンを半押しする、または動画ボタンを押しても録音を停止しますが、撮影モードに切り換わります。
- 録音の機能を設定できます（p. 50）。

音声操作パネルの操作

◀▶ ボタンで選んで、SET ボタンを押します。

終了アイコン	操作を終了します。
●	録音
■	停止
▶	再生（▲▼ ボタンで再生したい音声を選んでから、SET ボタンを押します。）
◀◀	早戻し（SETボタンを押し続けると早戻しします。音声は再生されません。）
▶▶	早送り（SETボタンを押し続けると早送りします。音声は再生されません。）
消去アイコン	消去（表示される画面で[消去]または[全消去]を選び、SETボタンを押します。）
保護アイコン	プロテクト（誤って消去しないように、プロテクト（保護）します。SET ボタンで設定、設定解除します。）
音量アイコン	再生音量（▲▼ ボタンで調節できます。）

- サウンドレコーダーの音声サイズと記録時間（目安）（p. 176）。
- メモリーカードの容量がいっぱいになった時点で自動的に録音を終了します。
- 再生モードで 🎙ボタンを押し続けても、音声操作パネルを表示できます。
- 音声番号およびフォルダ番号については、ソフトウェアクイックガイドでご確認ください。

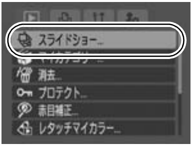
画像を自動再生する（スライドショー）

メモリーカード内の画像を自動再生します。
＊スライドショーの画像指定は、DPOF（Digital Print Order Format）に準拠しています（p. 171）

	全画像	メモリーカード内のすべての画像を順に再生します。
	日付	指定した日付の画像を順に再生します。
	マイカテゴリー	指定したカテゴリー内の画像を順に再生します。
	フォルダ	指定したフォルダ内の画像を順に再生します。
	動画	動画のみを順に再生します。
	静止画	静止画のみを順に再生します。
～	カスタム 1 ～ カスタム 3	カスタム 1 ～ 3 でマークされている画像を順に再生します（p. 115）。

1 **（再生）メニュー →**

メニュー操作（p. 26）



2 **▲▼◀▶ ボタンで、、、、、、、 ～ のいずれかを選ぶ**



- 、、のとき：再生する日付、カテゴリーまたはフォルダを選びます（p. 115）。
- ～のとき：再生する画像を選びます（p. 115）。
- 効果をつけて再生する場合は、▲ ボタンで［効果］を選び、◀▶ボタンで種類を選びます（p. 114）。

3 [スタート]を選び、SETを押す

- 自動再生中は、次のことができます。
  - スライドショーの一時停止/再開：SETボタンを押す
  - 画像の送り / 戻し：◀▶ ボタンを押す（ボタンを押し続けると早送りします）。
  - スライドショーの中止：MENUボタンを押す



効果の種類

画像の切り換え時に使用する効果を選択できます。

	効果なし
*	次の画像が徐々に明るくなりながら、画面の下から上方向に表示されます。
	初めに十字型に画像が表示され、徐々に画像全体が表示されます。
	画像の一部が横方向に動きながら、徐々に画像全体が表示されます。

＊初期設定

シングル再生時、SET ボタンを押しながら ボタンを押すと、表示中の画像からスライドショーを開始できます。なお、最後に撮影した画像を表示中のときは、その画像と同じ日付の先頭の画像から開始されます。

再生する日付 / マイカテゴリー / フォルダを選ぶ（、、）

1 、またはを選び、SETボタンを押す

2 ▲▼ボタンで再生する日付、マイカテゴリーまたはフォルダを選び、SETボタンを押す

- 再度SETボタンを押すと選択を解除できます。
- 日付、マイカテゴリー、フォルダは複数選択できます。
- 選択した順に再生されます。
- ◀▶ボタンで各日付、カテゴリー、またはフォルダの画像を確認できます
- MENUボタンを押すと、設定を終了します。

日付



マイカテゴリー



フォルダ



再生する画像を選ぶ（～）

スライドショーで再生したい画像だけをマークし、[カスタム1］から［カスタム 3］に保存します。最大 998 画像まで指定でき、選択した順番に自動再生されます。

1 ★1 〜 ★3 のいずれかを選び、SETボタンを押す

- 初めは、★1 だけが表示されます。★1 を設定すると、表示が ★1√ に変わり、★2 が表示されます。★2 ★3 も、同じように表示が変わっていきます。

2 ◀▶ボタンで再生する画像を選び、SETボタンで選択または選択を解除する

- インデックス再生にしても選択できます。
- MENUボタンを押すと、設定を終了します。

選択を表すチェックマーク

選択順の番号



- **すべての画像を指定するとき**
  1. 手順 1 で、★1 〜 ★3 のいずれかを選んだ後、▲ ボタンで［全画像］を選び、SET ボタンを押す
  2. ▲ ボタンで［全画像指定］を選び、SET ボタンを押す
  3. ▶ ボタンで［OK］を選び、SET ボタンを押す

  設定後に解除する場合には、［リセット］を選びます。

再生間隔やリピート設定をする

- 再生間隔

スライドショーで 1 画像を表示する時間を指定します。3 ＊〜 10 秒、15 秒、30 秒を指定できます（画像によって再生間隔は多少異なります）。

＊初期設定

- リピート

スライドショーが一巡したら終了するか、繰り返し再生するかを設定します。

1 ［設定］を選び、SETボタンを押す

2 [再生間隔]または[リピート]を選び、設定したい内容を選ぶ

- MENUボタンを押すと、設定を終了します。



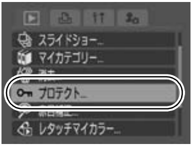
画像をプロテクト（保護）する

大切な画像や動画を誤って消去しないように、プロテクトの設定ができます。

画像指定	画像を見ながら 1 画像ずつプロテクトの設定ができます。
日付で指定	指定した日付の画像にプロテクトの設定ができます。
マイカテゴリーで指定	指定したカテゴリー内のすべての画像にプロテクトの設定ができます。
フォルダで指定	指定したフォルダ内のすべての画像にプロテクトの設定ができます。
全画像	メモリーカード内のすべての画像にプロテクトの設定ができます。

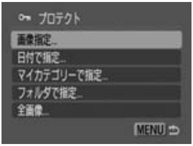
1 （再生）メニュー →

メニュー操作（p. 26）



2 設定方法を選び、SETボタンを押す

- ［全画像］の場合は、手順5 へ進みます。



3 プロテクトする画像、日付、カテゴリー、フォルダを選び、SETボタンを押す

- **［画像指定］**
  ◀▶ボタンで画像を選び、SETボタンを押します。
  - 再度 SET ボタンを押すとプロテクトを解除できます。
  - インデックス再生にしても設定できます。
  - MENUボタンを押すと、設定を終了します。



プロテクトマーク

- **［日付で指定］［マイカテゴリーで指定］［フォルダで指定］**
  ▲▼ボタンで日付、カテゴリーまたはフォルダを選び、SETボタンを押します。



  - が白で表示されます。
    ただし、一部の画像をプロテクトした場合は、がグレーで表示されます。
  - 再度SETボタンを押すと選択を解除できます。
  - 日付、カテゴリー、フォルダは複数選択できます。
  - ◀▶ボタンを押すと、各日付、カテゴリーまたはフォルダの画像を確認できます。

4 ［日付で指定］、［マイカテゴリーで指定］、［フォルダで指定］の場合は、MENUボタンを押す

5 **[プロテクト]を選び、SETボタンを押す**



- [解除] を選ぶと選択した画面のプロテクトを解除し、手順2に戻ります。
- [中止] を選ぶと、プロテクト画像の選択を取り消し、手順2に戻ります。
- プロテクト中に SET ボタンを押すと、中止できます。

メモリーカードを初期化（p. 34）すると、プロテクトした画像も消去されます。メモリーカードを初期化するときは、メモリーカード上の記録内容を十分に確認してから行ってください。

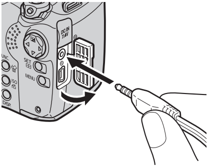
テレビを使って再生する

付属のステレオビデオケーブル STV-250N をお使いいただくと、テレビで画像を再生できます。ビデオ出力方式は、日本国内で採用している NTSC 方式が初期設定になっています。

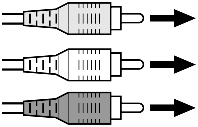
1 **カメラとテレビの電源を切る**

2 **カメラの A/V OUT 端子にステレオビデオケーブルを接続する**

- 下側の端子カバーの左側に爪をかけて開き、AVケーブルを奥まで差し込みます。



3 テレビの映像入力端子と音声入力端子にステレオビデオケーブルを接続する



4 テレビの電源を入れ、入力切り換えをビデオ入力にする

5 カメラの電源を入れる

- ビデオ出力方式の設定方法（p. 32）
- 撮影モードにすると、テレビに画像を表示しながら撮影できます。

画像を消去する

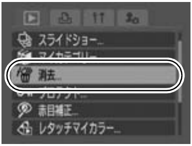
メモリーカード内の画像を消去します。

画像指定	1 画像ずつ選択した後にまとめて消去します。
日付で指定	指定した日付の画像を消去します。
マイカテゴリーで指定	指定したカテゴリーのすべての画像を消去します。
フォルダで指定	指定したフォルダのすべての画像を消去します。
全画像	メモリーカード内のすべての画像を消去します。

- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- プロテクトされている画像は消去できません。

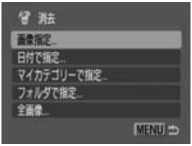
1 (再生)メニュー➜

メニュー操作(p. 26)



2 消去方法を選び、SETボタンを押す

- [全画像] の場合は、手順5へ進みます。



3 消去する画像、日付、カテゴリー、フォルダを選び、SETボタンを押す

- **[画像指定]**
  ◀▶ボタンで画像を選び、SETボタンを押します。
  - 再度SETボタンを押すと選択を解除できます。
  - インデックス再生にしても選択できます。
- **[日付で指定][マイカテゴリーで指定][フォルダで指定]**
  ▲▼ボタンで日付、カテゴリーまたはフォルダを選び、SETボタンを押します。
  - 再度SET ボタンを押すと、指定を解除できます。
  - 日付、カテゴリー、フォルダは複数選択できます。
  - ◀▶ボタンを押すと、各日付、カテゴリーまたはフォルダの画像を確認できます。



4 MENUボタンを押す

5 [OK]を選び、SETボタンを押す

- ［中止］または［キャンセル］を選ぶと消去画像の選択を取り消し、手順2に戻ります。
- 消去中にSETボタンを押すと、中止できます。

- 画像データだけでなく、メモリーカードの記録内容をすべて消去したいときは、メモリーカードを初期化してください（p. 34）。

印刷指定 / 送信指定する

DPOFの印刷指定

メモリーカードに記録されている画像の中から、印刷する画像や枚数をあらかじめカメラ側で指定できます。なお、この指定は、DPOF（Digital Print Order Format）に準拠しています。カメラダイレクト対応プリンターで一括して印刷するときや、プリント取り扱い店に注文するときに大変便利です。

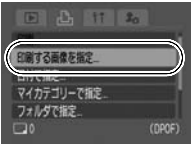
DPOF 対応の他のカメラで印刷指定されたメモリーカードの場合、⚠が表示されることがあります。このカメラでそれらの印刷指定を変更すると、設定済みの印刷指定は、すべて書き換えられます。

印刷する画像を指定	画像を見ながら 1 画像ずつ印刷指定します。
日付で指定	指定した日付の画像を印刷指定します。
マイカテゴリーで指定	指定したカテゴリー内の画像を印刷指定します。
フォルダで指定	指定したフォルダ内の画像を印刷指定します。
すべての画像を指定	すべての画像に対して印刷指定します。
すべての指定を解除	画像の印刷指定をすべて解除します。

- 指定した画像に対して、1 枚ずつ印刷指定されます。［印刷する画像を指定］で印刷タイプ（p. 125）が［スタンダード］/［両方］の場合のみ、印刷枚数を指定できます。

1 （印刷）メニュー➡指定方法の選択

メニュー操作（p. 26）



- ［すべての画像を指定］の場合は、手順4へ進みます。

2 印刷する画像、日付、カテゴリー、フォルダを選び、SETボタンを押す

- **[印刷する画像を指定]**
  印刷タイプの設定（p. 125）によって異なります。

  スタンダード( )/両方( )：
  ◀▶ボタンで画像を選び、SETボタンを押して▲▼ボタンで印刷枚数を指定します（最大99枚まで）。

印刷枚数表示



  インデックス（ ）：
  ◀▶ボタンで画像を選び、SETボタンで指定、指定解除を行います。

  - インデックス再生にしても設定できます。
  - MENU ボタンを押すと、設定を終了します。

インデックス印刷の選択



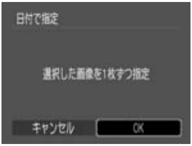
- **[日付で指定][マイカテゴリーで指定][フォルダで指定]**
  ▲▼ボタンで日付、カテゴリーまたはフォルダを選び、SETボタンを押します。
  - 再度 SET ボタンを押すと、指定を解除できます。
  - 日付、カテゴリー、フォルダは複数選択できます。
  - ◀▶ボタンを押すと、各日付、カテゴリーまたはフォルダの画像を確認できます。



3 [日付で指定]、[マイカテゴリーで指定]、[フォルダで指定]の場合は、MENUボタンを押す

4 [OK]を選び、SETボタンを押す

- キャンセルを選ぶと、印刷指定の選択を取り消し、手順1に戻ります。



- プリンターまたはプリント取り扱い店によっては、指定内容が反映されないことがあります。
- 動画は印刷指定できません。

- 画像番号の順に印刷されます。
- 最大 998 画像まで指定できます。
- ［印刷タイプ］が［両方］の場合、印刷枚数は指定できますが、［インデックス］の場合は指定できません。［インデックス］は 1 枚のみ印刷されます。
- プリンターに接続している場合、画像が指定されると ボタンが青色に点灯します。このとき、 ボタンを押して、［印刷］が選択されていることを確認し、SET ボタンを押すと、印刷が開始されます。

印刷スタイルを設定する

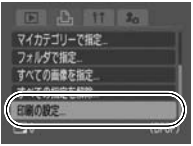
印刷スタイルを設定してから、印刷する画像を選んでください。
次の内容を設定できます。

＊初期設定

印刷タイプ	スタンダード＊		用紙 1 枚に 1 画像を印刷します。
	インデックス		画像を縮小してインデックス形式で印刷します。
	両方		スタンダードとインデックスの両方を印刷します。
日付(入 / 切＊)			日付を入れて印刷します。
画像番号(入 / 切＊)			画像番号を入れて印刷します。
印刷後指定解除(入＊ / 切)			印刷後、画像の印刷指定をすべて解除します。

1 ⎙（印刷）メニュー ➜［印刷の設定］➜ SETボタン

メニュー操作（p. 26）



2 ▲▼ ボタンで［印刷タイプ］、［日付］、［画像番号］、［印刷後指定解除］のいずれかを選び、◀▶ ボタンで設定したい内容を選ぶ

- 印刷タイプによって、日付と画像番号の設定は次のようになります。
  - ［インデックス］のとき
    ［日付］と［画像番号］を同時に設定できません。
  - ［スタンダード］または［両方］のとき
    ［日付］と［画像番号］を同時に［入］に設定できます。ただし、お使いのプリンターによって、印刷できる情報が異なることがあります。
- 日付は、［日付 / 時刻］で設定した日付スタイルで印刷されます（p. 31、基本編 p. 8）。
- 日付を写し込んだ画像を印刷する場合、DPOF の印刷指定で日付を入れる設定をしないでください。日付が重複して印刷されます。

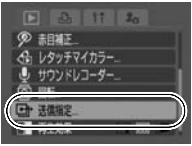
DPOFの送信指定

パソコンに取り込む画像をあらかじめカメラ側で指定できます。パソコンへの送信方法は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。なお、この指定は、DPOF（Digital Print Order Format）に準拠しています。

DPOF 対応の他のカメラで送信指定されたメモリーカードの場合、⚠が表示されることがあります。このカメラでそれらの送信指定を変更すると、設定済みの送信指定は、すべて書き換えられます。

1 (再生)メニュー ➜ ➜ SETボタン

メニュー操作（p. 26）



1 画像ずつ指定する

2 [画像指定]を選び、SETボタンを押す

- [リセット] を選ぶと、送信指定をすべて解除します。



3 ◀▶ボタンで送信する画像を選び、SETボタンを押す

- 再度 SET ボタンを押すと選択を解除できます。
- インデックス再生にしても設定できます。

送信画像の選択



メモリーカード内のすべての画像を指定する

2 [全画像]を選び、SETボタンを押す

- [リセット] を選ぶと、送信指定をすべて解除します。



3 [OK]を選び、SETボタンを押す

- 画像番号の順に送信されます。
- 最大 998 画像まで指定できます。

カメラを自分好みにする（マイカメラ機能）

カメラの起動画面や起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音を「マイカメラコンテンツ」と呼びます。これらを変更したり登録して、カメラを自分好みの設定に変えることができます。

マイカメラコンテンツを変更する

1 （マイカメラ）メニュー➜メニュー項目

メニュー操作（p. 26）



2 ◀▶で設定したいコンテンツを選ぶ

- すべて同じコンテンツに設定したいときは、［セット］を選びます。



マイカメラコンテンツを登録する

各コンテンツの［ ］［ ］には、メモリーカードに記録してある画像や新たに録音した音声を、マイカメラコンテンツとしてその場ですぐに登録できます。また、付属のソフトウェアを使うと、パソコンにある画像や音声、CANON iMAGE GATEWAY からダウンロードしたコンテンツをカメラに登録することもできます。

● マイカメラコンテンツを初期設定に戻すには、パソコンが必要です。付属のソフトウェア（ZoomBrowser EX/ImageBrowser）を使い、初期設定のコンテンツをカメラに登録してください。

1 （マイカメラ）メニュー➜登録したいメニュー項目

メニュー操作（p. 26）



2 または を選び、DISP.ボタンを押す



3 登録したい画像を選択、または音声を録音する

- **起動画面**
  ◀▶ボタンで登録したい画像を選んで、SETボタンを押します。



- **起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音**
  ●（録音）を選び、SETボタンを押します。録音後、（登録）を選び、SET ボタンを押します。
  - 録音時間が経過すると、自動的に録音が終了します。
  - 再生するときは、▶（再生）を選びます。
  - マイカメラメニューに戻るときは、（終了）を選びます。



4 [OK]を選び、SETボタンを押す

- 登録を取り消すときは、［キャンセル］を選びます。



- 以下は、マイカメラコンテンツに登録できません。
  - 動画
  - 音声メモ機能（p. 109）やサウンドレコーダー（p. 111）で録音した音声
- 新しいマイカメラコンテンツを登録すると、以前に登録されていたコンテンツは消去されます。

- マイカメラコンテンツの登録、作成についての詳細は、付属のソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

こんなときには

カメラ全般

カメラが動作しない	
電源が入っていません。	●電源を入れてください（基本編 p. 9）。
メモリーカードスロット / バッテリーカバーが開いています。	●メモリーカードスロット / バッテリーカバーがしっかりと閉じていることを確認してください（基本編 p. 5）。
電池が逆向きに入っています。	●電池を、正しい方向で入れ直してください（基本編 p. 5）。
不適切な電池が入っています。	●未使用の単 3 形アルカリ電池またはキヤノン製の単 3 形ニッケル水素電池を入れてください（p. 148）。
電池の残量が少なく、動作不能です（「バッテリーを交換してください」というメッセージが表示されます）。	●未使用の電池または、十分に充電された充電池に 4 本とも交換してください（基本編 p. 5）。 ●コンパクトパワーアダプター CA-PS700（別売）を使用してください（p. 155）。
カメラと電池の接触不良です。	●電池の電極を乾いたきれいな布で拭いてください。 ●電池を数回入れ直してください。

カメラ内部で音がする	
カメラの縦・横の向きが変わりました。	●カメラの向きを検出する機構が働いています。カメラの故障ではありません。

電源を入れたとき

「ライトプロテクト」が表示された	
SD メモリーカード、SDHC メモリーカードの「ライトプロテクト（書き込み禁止）」スイッチが、「書き込み禁止」になっています。	● 書き込み、消去、初期化したいときは、ライトプロテクトスイッチを上にスライドしてください（p. 150）。

日付 / 時刻の設定画面が表示された	
コイン型リチウム電池の容量がなくなっています。	● コイン型リチウム電池を交換してください（p. 165）。

液晶モニター/ビューファインダー

カメラの起動時に画面が黒くなる	
マイカメラ機能の起動画面に、互換性のない画像が設定されています。	● マイカメラ機能で起動画面を変更するか（p. 129）、付属の ZoomBrowserEX や ImageBrowser を使って初期設定に戻します。詳細は、ZoomBrowser EX/ImageBrowser のソフトウェアガイド（PDF）をご覧ください。

表示が黒くなる	
太陽や強い光が当たると黒くなることがあります。	● これは CCD 特有の現象で、カメラの故障ではありません（動画にはこの画像が記録されますが、静止画には記録されません）。

画面がちらつく

蛍光灯の下で撮影しています。	●カメラの故障ではありません（動画には記録されますが、静止画には記録されません）。

赤紫などの帯が表示された

太陽や照明などの明るい被写体を撮影するときに表示されることがあります。	●これは CCD 特有の現象で、カメラの故障ではありません（動画にはこの帯が記録されますが、静止画には記録されません）。

が表示された

光量不足で、シャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。	●手ぶれ補正を［切］以外に設定してください（p. 41）。 ●ISO 感度を上げてください（p. 73）。 ●ISO ブースターを［入］にしてください（p. 74）。 ●ストロボを上げて （発光禁止）以外に設定してください（基本編 p. 14）。 ●セルフタイマーを設定し（基本編 p. 18）、三脚などでカメラを固定して撮影してください。 ●外部ストロボをお持ちの方は、外部ストロボを接続してください（p. 160）。

が表示された

DPOF 対応の他のカメラで、印刷指定、送信指定またはスライドショーの画像指定されたメモリーカードです。	●このカメラでそれらの印刷指定、送信指定またはスライドショーの指定を変更すると、設定内容はすべて書き換えられますので、ご注意ください（p. 123）。

ノイズが表示される / 表示される被写体の動きがぎこちない	
暗い場所で撮影する場合、液晶モニター（またはビューファインダー）を見やすくするために、カメラが液晶モニター（またはビューファインダー）に映し出される画像を自動的に明るくしました(p. 13)。	●記録される画像に影響はありません。

撮影のとき

撮影できない	
再生モード、またはパソコン接続 / プリンター接続モードになっています。	●モードレバーを（撮影）側に回す、またはシャッターボタンを半押しして、撮影モードに切り換えてください。 ●パソコン接続/プリンター接続モード時は、インターフェースケーブルを抜いてから撮影モードに切り換えてください。
ストロボが充電中です。(液晶モニター / ビューファインダーのが白で点滅表示)	●充電が完了すると、液晶モニター（またはビューファインダー）のの点滅が点灯に変わり、撮影できます。
メモリーカードの空き容量がありません。	●新しいメモリーカードを入れてください（基本編 p. 5)。 ●必要であれば、カードに記録されている画像をパソコンに取り込んでから画像を消去し、空き容量を増やしてください。

メモリーカードが正しく初期化されていません。	● メモリーカードを初期化してください（p. 34）。 ● メモリーカードの論理フォーマットが壊れている可能性があります。お客様相談センターにお問い合わせください。
SD メモリーカード、SDHC メモリーカードがライトプロテクト（書き込み禁止）されています。	● ライトプロテクトスイッチを上にスライドしてください（p. 150）。

画像がぼやけている、ピントが合いにくい

シャッターボタンを押したとき、カメラが動いています。	●「（手ぶれアイコン）が表示された」（p. 134）でご確認ください。
AF 補助光が［切］になっています。	● 暗い場所などでピントが合いにくいとき、AF 補助光が光ってピントを合いやすくします。AF 補助光が「切」だと機能しないので、「入」にして、AF 補助光を発光させてください（p. 28）。このとき、AF 補助光投光部に手がかからないように注意してください。
被写体がピントの合う範囲から外れています。	● 正しい撮影距離範囲内に被写体を収めて撮影してください（p. 169）。
ピントが合いにくい被写体です。	● フォーカスロック、AF ロックまたはマニュアルフォーカスで撮影してください（p. 66）。

撮影した画像の被写体が暗すぎる	
撮影時の光量が不足しています。	●ストロボを上げて、（常時発光）にしてください（基本編 p. 15）。 ●光量の大きな外付けストロボをお使いください。
周辺部が明るすぎるため、狙った被写体の露出がアンダー（露出不足）になっています。	●露出補正値をプラス側に設定してください（p. 76）。 ●AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください（p. 76、71）。
被写体が遠すぎてストロボ光が届いていません。	●ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボ撮影範囲内に被写体を収めて撮影してください（p. 170）。 ●ISO 感度を上げて撮影してください（p. 73）。

撮影した画像の被写体が明るすぎる、または白飛びする	
被写体が近すぎてストロボ光が強すぎます。	●ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボの撮影範囲内に被写体を収めて撮影してください（p. 170）。 ●ストロボ調光補正（p. 85）でストロボの発光量を調節してください。 ●セーフティ FE を［入］にしてください（p. 61）。
周辺部が暗すぎるため、狙った被写体の露出がオーバー（露出過多）になっています。	●露出補正値をマイナス側に設定してください（p. 76）。 ●AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください（p. 76、71）。
照明が直接、もしくは被写体の表面で反射してカメラに入っています。	●被写体に対するカメラのアングルを変えてください。

ストロボが「常時発光」になっています。	●ストロボを下げて、（発光禁止）にしてください（基本編 p. 15）。
画像にノイズがある	
ISO 感度が高すぎます。	●高い ISO 感度や（高感度オート）を選ぶと、画像にノイズが増えることがあります。画質を優先する場合には、なるべく低い感度を選んでください（p. 73）。 ●、やSCNモードの、、、では、ISO 感度が上がり、ノイズが発生しやすくなります。
画像に白い点などが写る	
ストロボ撮影時に空気中のちりやほこり、虫などにストロボ光が反射しました。特にワイド側や、**Av** モードで絞り数値を大きくして撮影したときに、目立ちやすくなります。	●デジタルカメラ特有の現象でカメラの故障ではありません。
目が赤く写る	
暗い所でストロボを発光したため、ストロボの光が目に反射しました。	●撮影メニューの［赤目緩和機能］を［入］に設定して撮影してください（p. 40）。赤目緩和を使うときは、写される人が赤目緩和ランプを見ていないと効果がありません。ランプを見るよう声をかけてください。「室内を明るくする」、「写したい人に近付く」とより効果があります。 ●赤目で撮影された画像は、［赤目補正］で修正できます（p. 105）。

連続撮影速度が遅くなった

メモリーカードの性能が低下しました。	●連続撮影の性能を十分に発揮するため、撮影した画像をパソコンに保存してから、カメラでメモリーカードを物理フォーマットすることをおすすめします（p. 34）。

メモリーカードへの画像の記録時間が長い

違う機器で初期化したメモリー カードが入っています。	●このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください（p. 34）。

レンズが出たままで収納されない

電源を入れたまま、メモリーカードスロット / バッテリーカバーを開けました。	●メモリーカードスロット / バッテリーカバーを閉じた後、電源を入れてからもう一度切ってください（基本編 p. 5）。
撮影モードから再生モードに切り換えました。	●この場合はレンズが収納されません。レンズを収納する場合は、もう一度モードレバーを左に回してください。

動画撮影のとき

正しい撮影時間が表示されない、または中断される

以下のようなメモリーカードをお使いです。 - 書き込み速度が遅い - 他のカメラやパソコンで初期化した - 撮影 / 消去を繰り返した	●撮影時間が正しく表示されないときも、メモリーカードには実際に撮影した時間の動画が記録されています。メモリーカードをこのカメラで初期化すると、正しい時間が表示されます（書き込み速度の遅いメモリーカードを除く）（p. 34）。

液晶モニターに「バッファー警告」(p. 18)が頻繁に表示される

カメラの内部メモリーが少なくなりました。(バッファー警告がいっぱいまで表示されると、撮影が自動的に終了します。)	●以下の方法をお試しください。 -撮影する前にメモリーカードを物理フォーマットする(p. 34) -記録画素数を小さくしたり、フレームレートを下げる(p. 36) -高速のメモリーカード(SDC-512MSH など)を使用する

再生のとき

再生できない

他のカメラで撮影した画像やパソコンで編集した画像を再生しようとしました。	●付属の ZoomBrowser EX や ImageBrowser を使って、再生できない画像をパソコンからカメラに追加すると、再生できることがあります。詳細は、ZoomBrowser EX / ImageBrowser のソフトウェアガイド(PDF)をご覧ください。
ファイル名をパソコンで変更したり、ファイルの場所を変更しました。	●ファイル名およびフォルダ番号は、カメラの形式にあったファイル名にしてください(詳細は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください)。

動画を編集できない

他のカメラで撮影した動画は、編集ができない場合があります。

動画を正しく再生できない

大きい記録画素数と高いフレームレートで撮影した動画を、読み込み速度の遅いメモリーカードで再生すると、再生が一瞬中断することがあります。

パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム（コマ）落ちしたり、音声が途切れる場合があります。

このカメラで撮影した画像は、他のカメラで正しく再生できない場合があります。

ビデオ出力方式をPAL方式に設定し、で撮影した動画をテレビやビデオなどに出力する場合、撮影したフレームレートより低いフレームレートで再生されます。なお、スロー再生時は、すべてのフレームを再生できます。	●オリジナルのフレームレートで画像を確認したい場合は、カメラの液晶モニター、ビューファインダーまたはパソコンで再生することをおすすめします。

メモリーカードからの画像の読み出しが遅い

違う機器で初期化したメモリーカードが入っています。	●このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください（p. 34）。

電池

電池の消耗が早い

電池の性能が十分に発揮されていません。	●電池の取り扱いを、「取り扱い上の注意（p. 148）」でご確認ください。

不適切な電池が入っています。	●未使用の単 3 形アルカリ電池またはキヤノン製の単 3 形ニッケル水素電池を入れてください(p. 148)。
周囲の温度が低いために電池の容量が低下しています。	●温度が比較的低い場所で撮影する場合には、ポケットなどに電池を入れて、温めてからお使いください。
電池の電極が汚れています。	●電極を乾いた布などで拭いてからお使いください。 ●電池を数回入れ直してください。
キヤノン製の単3形ニッケル水素電池をお使いの場合	
1 年以上お使いにならなかったために、充電池の容量が低下しています。	●フル充電して使い切ることを数回繰り返すうちに容量が回復します。
充電池の寿命です。	●4 本ともすべて未使用の充電池と交換してください。

テレビ出力

テレビに出力できない / 画面が乱れる	
お使いの地域のビデオ出力方式に合っていません。	●正しいビデオ出力方式（NTSC または PAL）に合わせてください(p. 32)。日本国内の出力方式は、「NTSC」です。
スティッチアシストで撮影しています。	●スティッチアシストではテレビに出力できません。他の撮影モードで撮影してください（p. 51)。

カメラダイレクト対応プリンターで印刷するとき

印刷ができない	
カメラとプリンターが正しく接続されていません。	● 指定されたケーブルでカメラとプリンターを正しく接続してください。
プリンターの電源が入っていません。	● プリンターの電源を入れてください。
印刷接続方式が正しくありません。	● （設定）メニューの［印刷接続方式］で［自動］を選択してください（p. 32）。

メッセージ一覧

撮影または再生中に液晶モニター（またはビューファインダー）に表示されるメッセージには以下のものがあります。
プリンターを接続しているときに表示されるメッセージについては、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

処理中 ...

撮影した画像をメモリーカードに記録しています。または、再生モードを起動中です。

カメラやメニューの設定を初期設定に戻しています。

カードがありません

メモリーカードをカメラに入れずに、電源を入れました。または、メモリーカードが正しい向きに入っていません（基本編 p. 5）。

ライトプロテクト

SD メモリーカード、SDHC メモリーカードがライトプロテクト（書き込み禁止）されています。

記録できません

メモリーカードがカメラに入っていない、または、正しい向きに入っていないのに撮影しようとしました。または、動画に音声メモをつけようとしました。

カードが異常です

メモリーカードに異常がある可能性があります。異常のあるメモリーカードは、本製品で初期化するとお使いになれる場合があります。ただし、本製品付属のメモリーカードをお使いになっても、このエラーメッセージが表示される場合には、カメラの故障が考えられますので、修理受付窓口にお問い合わせください。

カードがいっぱいです

メモリーカードの容量いっぱいに画像が記録されていて、これ以上記録や保存はできません。また、これ以上、画像指定や音声メモ、サウンドレコーダーの録音はできません。

ファイル名が作成できません

カメラが作成しようとするフォルダと同じ名前のファイルが存在する、もしくは、すでに画像番号が最大値になってしまったために、ファイル名を作成できません。設定メニューで［画像番号］を［オートリセット］に設定してください。または、必要な画像をパソコンに取り込んだ後、メモリーカードを初期化してください。なお、初期化すると、メモリーカード内の画像およびデータはすべて消去されます。

バッテリーを交換してください

電池の残量が少なく、カメラが動作不能です。ただちに 4 本とも未使用の単３形アルカリ電池か、充電されたキヤノン製の単３形ニッケル水素電池に交換してください。

また、電池の取扱いは、「取り扱い上の注意（p. 148）」でご確認ください。

画像がありません

メモリーカードに画像が記録されていません。

画像が大きすぎます

4992 × 3328 画素より大きな記録画素数の画像、またはファイルサイズの大きな画像を再生しようとしました。

互換性のない JPEG です

互換性のない JPEG 圧縮の画像（パソコンで編集した画像など）を再生しようとしました。

RAW

RAW タイプで記録された画像を再生しようとしました。

認識できない画像です

データが破壊されている画像、互換性がない画像（他社カメラ特有の記録タイプなど）、パソコンで編集した画像、または別のカメラで撮影した動画を再生しようとしました。

拡大できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、いったんパソコンに取り込んで加工した画像、または動画を拡大しようとしました。

回転できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、またはパソコンに取り込んで加工した画像を回転させようとしました。

互換性のない WAVE です

録音済みの音声のタイプが正しくないので、この画像に追加録音できません。また、音声の再生もできません。

登録できない画像です

このカメラ以外で撮影した画像、または動画を起動画面に登録しようとしました。

処理できない画像です

このカメラ以外で撮影した画像、または動画にレタッチマイカラーで効果をつけようとしました。または、このカメラ以外で撮影した画像に赤目補正しようとしました。

処理できません

このカメラ以外で撮影した画像をカテゴリー分けしようとしました。

転送できません

ダイレクト転送画面で画像をパソコンへダイレクト転送するとき、データが破壊された画像や別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像を指定しようとしました。または、［パソコンの背景］を選び、動画を指定しようとしました。

処理できませんでした

赤目を検知しなかったため、赤目補正処理ができませんでした。

プロテクトされています

プロテクトされている画像や動画、音声メモを、消去または編集しようとしました。

指定が多すぎます

印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像が多すぎます。これ以上指定できません。

指定完了できませんでした

印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定を一部保存できませんでした。

指定できない画像です

JPEG 以外の画像を印刷指定しようとしました。

通信エラー

メモリーカードに大量の画像（1000 画像程度）があるため、パソコンに画像が取り込めませんでした。

レンズエラーを検知しました

レンズ駆動中にカメラがエラーを検知して、自動的に電源を切りました。レンズ駆動中にレンズを押さえたり、ほこり / 砂ぼこりの立つ場所などでカメラを起動すると、発生する恐れがあります。いったん電源を入れ直して、撮影または再生してください。頻繁にこのメッセージが表示されるときは、レンズの故障が考えられますので、修理受付窓口へお持ちください。

Exx

カメラがエラーを検知しました。いったん電源を入れ直して、再び撮影または再生してください。頻繁に、このエラーコードが表示されるときは、故障ですので「xx」の数値を控えて修理受付窓口へお持ちください。また、撮影直後にこのエラーコードが表示されたときは、撮影されていない場合がありますので、再生モードに切り換えてご確認ください。

付録

電池の取り扱い

電池残量の確認

以下のようなアイコンやメッセージが表示されます。

電池残量が低下しています。長時間お使いになる場合は、早めに電池を交換してください。	**バッテリーを交換してください** 電池の残量が少なく、動作不能です。ただちに電池を交換してください。

取り扱い上の注意

- **このカメラで使用できる電池は、単3形アルカリ電池、キヤノン製単3形ニッケル水素電池（別売）です。**
  単3形ニカド電池もお使いになれますが、性能のばらつきがあり、おすすめはできません。
- **アルカリ電池の銘柄によっては、付属のアルカリ電池に比べ使用可能時間が短い場合があります。**
  アルカリ電池は銘柄により容量や特性に差があります。
- **低温下や長時間カメラをお使いになるときは、キヤノン製の単3形ニッケル水素電池（別売）のご使用をおすすめします。**
  アルカリ電池は低温下では使用可能時間が短くなります。またニッケル水素電池に比べ、電池の寿命が短い場合があります。
- **新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。**
  古い電池が液漏れを起こすことがあります。
- **電極（⊕と⊖）を逆にして入れないでください。**
- **メーカーや種類の異なる電池を混ぜて使わないでください。**
- **電池を入れる前に、電極を乾いた布などでよく拭いてください。**
  電極が皮脂などで汚れていると、記録可能画像数が著しく少なくなったり、電池の使用可能時間が短くなります。

●低温下では、電池の性能が低下したり、バッテリーアイコン（ ）が早めに表示されることがあります。

使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、電池の性能が回復することがあります。

●ポケットで温めるときは、キーホルダーなどの金属類と一緒に入れないでください。

電池がショートするおそれがあります。

●長期間使用しないときは、カメラから電池を取り出して保管してください。

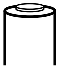
電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因でカメラが故障することがあります。

⚠ 警告

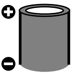
外装シールが（一部または全体に関わりなく）剥がれている電池や破損している電池は絶対お使いにならないでください。

電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となり危険ですので、絶対にお使いにならないでください。市販されているままの状態でも、電池によっては、外装シールが十分でないものがあります。このような電池も絶対にお使いにならないでください。

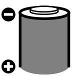
以下のような形状の電池はご使用になれません。



外装シールが一部またはすべて剥がしてある電池（裸電池）



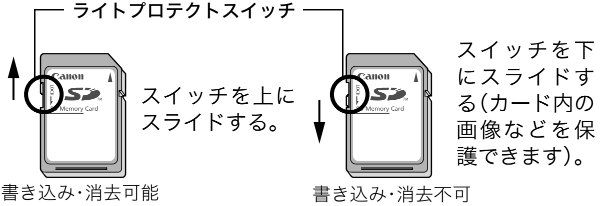
プラス電極が平らな電池



マイナス電極の一部が膨らんでいるが、十分に外装シールで被われていない電池

メモリーカードの取り扱い

SD メモリーカード、SDHC メモリーカードのライトプロテクト（書き込み防止）スイッチについて



取り扱い上のご注意

- **曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。**
- **分解したり、改造しないでください。**
- **端子部にゴミや水、異物などを付着させたり、手や金属で触れたりしないでください。**
- **貼られているラベルをはがしたり、別のラベルやシールを貼ったりしないでください。**
- **文字を書くときは、鉛筆やボールペンを使用しないでください。必ず油性ペンをお使いください。**
- **下記の場所で使用したり、保管しないでください。**
  ・ほこりや砂ぼこりの立つ場所
  ・高温多湿の場所
- **大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。**
  電気ノイズ、静電気、カメラやメモリーカードの故障などにより、カード内のデータが壊れたり、消失することがあります。

初期化

●**初期化すると、プロテクトした画像も消去されます。**

●**このカメラで初期化したメモリーカードをお使いになることをおすすめします。**

・付属のメモリーカードは、そのままお使いになれます。

・カメラが正しく動作しないときは、メモリーカードが壊れている可能性があります。初期化すると正しく動作する場合もあります。

・キヤノン製以外のメモリーカードで正しく動作しないときは、初期化すると正しくお使いになれることがあります。

・他のカメラやパソコン、周辺機器で初期化したメモリーカードを使用すると、正しく動作しない場合があります。その際は、このカメラで初期化してください。

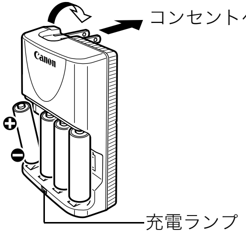
●**正しく初期化されないときは、電源を切ってから、メモリーカードを入れ直し、再度初期化してください。**

●**カード内のデータは、初期化や削除をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消去されません。譲渡・廃棄するときは、ご注意ください。**
廃棄するときは、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

電源キット（別売）の使いかた

充電式バッテリーを使う（バッテリー / チャージャーキット CBK4-300）

バッテリーチャージャーと単3形ニッケル水素電池4本が入っています。次のように電池を充電してください。



・バッテリーチャージャーに電池を装着してから、コンセントに差してください。
・電池の充電開始後に、電池を追加して充電しないでください。
・充電中は充電ランプが点滅します。充電が終わると点灯に変わります。

- バッテリーチャージャー CB-5AH はキヤノン製単3形ニッケル水素電池 NB-3AH、NB-2AH 専用です。その他の電池を充電しないでください。
- 充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使わないでください。電池を充電するときは、必ず、一緒に使用している4本を同時に充電してください。
- 電池を保護し、性能の劣化を防ぐため、フル充電された電池を再度充電しないでください。また、24 時間以上連続して充電しないでください。
- 熱のこもりやすい場所では充電しないでください。
- 充電は、「バッテリーを交換してください」というメッセージが液晶モニターに表示されてから行ってください。使い切らずに充電を繰り返すと、容量が低下することがあります。

- 以下のときは、電池の電極を乾いた布などでよく拭いてください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。
  - 電池の使用可能時間が著しく短いとき
  - 記録画像数が著しく少ないとき
  - 電池を充電するとき（さらに、電池の取り付けと取り外しを2～3回繰り返してから充電してください。）
  - 電池の充電時間が数分程度で終了する（バッテリーチャージャーの充電ランプが点灯する）とき
- お買い求め直後や長期間お使いにならなかった電池は、十分に充電されないことがあります。このときは、フル充電して電池を使い切ることを数回繰り返してください。電池の性能が元に戻ります。
- 電池を長期間（1年程度）保管する場合は、カメラで電池を使い切ってから、湿度の低い、室温（0～30℃）で保管してください。フル充電の状態で長期間保管すると、電池の寿命を縮めたり、性能の劣化の原因となることがあります。

  また1年以上使用しないときは、年に1度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。
- 電極を拭いてから充電ランプが点灯するまで充電したにもかかわらず、電池の使用可能時間が著しく短いときは、電池の寿命と考えられます。新しい電池と交換してください。新しくお求めになるときは、キヤノン製の単3形ニッケル水素電池をご購入ください。
- 電池をカメラやバッテリーチャージャーに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。使用しないときは、カメラやバッテリーチャージャーから取り出して、乾燥した冷暗所に保管してください。

- バッテリーを使い切った状態からフル充電するまでの時間は、約4時間40分です（当社測定基準による）。また、0～35℃の環境で充電してください。
- 充電時間は、周囲の温度や充電状態により異なります。
- バッテリーチャージャーを使用中、音がすることがありますが故障ではありません。
- バッテリー / チャージャーキットCBK4-200もお使いになれます。

Ni-MH

・ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
・ニッケル水素電池の回収、リサイクルについては、下記のキヤノンホームページ上で確認できます。
・交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
・リサイクル協力店へのお問い合わせは、以下へお願いします。

- 製品、ニッケル水素電池をご購入いただいた販売店
- 「有限責任中間法人 ＪＢＲＣ」および「キヤノン / キヤノンマーケティングジャパン」

有限責任中間法人 ＪＢＲＣ ホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

キヤノンサポートページ
canon.jp/support

リサイクル時のご注意

・電池を分解しないでください。

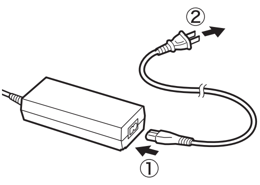
コンパクトパワーアダプター(別売)を使う

カメラを連続して長時間お使いになるときや、パソコンやプリンターと接続するときは、コンパクトパワーアダプター CA-PS700（別売）のご利用をおすすめします。

- コンパクトパワーアダプターの取り付けや取り外しは、必ずカメラの電源を切って（基本編 p. 7）から行ってください。

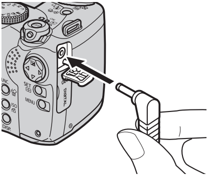
1 **コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し(①)、電源プラグをコンセントに差し込む(②)**

- 電源コードは奥までしっかり差し込んでください。



2 **カメラの端子カバーの左端に爪をかけて開き、コンパクトパワーアダプターのDCプラグをDC IN端子に接続する**

- 使用後はコンパクトパワーアダプターを取り外してください。



レンズ(別売)の使いかた

別売のワイドコンバーターWC-DC58A、テレコンバーターTC-DC58B、クローズアップレンズ 500D（58mm）を取り付けるときは、別売のコンバージョンレンズアダプターLA-DC58E(レンズアダプター / フードセット LAH-DC20 に付属）が必要です。

⚠
- ワイドコンバーター / テレコンバーター/ クローズアップレンズを取り付けるときは、確実にねじ込んでください。緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。
- ワイドコンバーター / テレコンバーター/ クローズアップレンズは、絶対に太陽や強烈なライトに向けないでください。レンズをのぞくと失明の恐れがあります。

- 内蔵ストロボを使用すると、画像の周辺部（特に画面右下）が暗くなります。
- テレコンバーターは、テレ端の位置でお使いください。それ以外のズーム位置でお使いになると、画像が欠け（ケラレ）ることがあります。
- ワイドコンバーターは、ワイド端の位置でお使いください。

■ ワイドコンバーター WC-DC58A

広角撮影をするためのレンズで、焦点距離は、カメラ本体の焦点距離の 0.75 倍になります（ねじ径 58mm）。

■テレコンバーター TC-DC58B

望遠撮影をするためのレンズで、焦点距離は、カメラ本体の焦点距離の 1.5 倍になります（ねじ径 58mm）。

- ワイドコンバーターやテレコンバーターにフィルターやレンズフードは取り付けられません。

■クローズアップレンズ 500D(58mm)

簡単にマクロ撮影するためのレンズです。通常撮影で、レンズ前面から被写体までが、ワイド端で 28 ～ 50cm、テレ端で 35 ～ 50cm の至近距離で撮影できます。

撮影範囲について

	レンズ前面から被写体までの距離	撮影範囲
ワイド端	28cm	276 × 207mm
テレ端	35cm	34 × 26mm

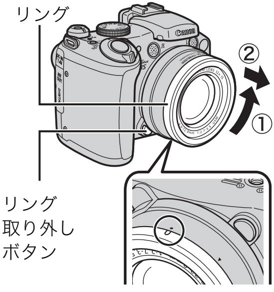
■レンズアダプター/ フードセット LAH-DC20

- コンバージョンレンズアダプター LA-DC58E
  ワイドコンバーターやテレコンバーター、クローズアップレンズを取り付けるためのレンズアダプターです（ねじ径58mm)。
- レンズフード LH-DC40
  ストロボを使わずに広角側で逆光時に撮影する場合は、画面外の光がレンズに入らないように、レンズフードを取り付けることをおすすめします。

レンズ / レンズフードを取り付ける

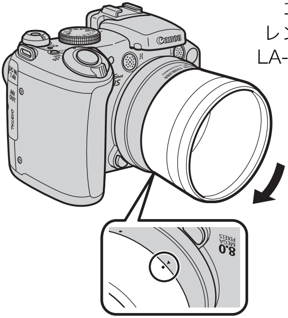
1 電源が切れていることを確認する

2 リング取り外しボタンを押しながら、リングを矢印の方向に回し(①)、カメラの●とリングの⌒が合ったら、リングを取り外す(②)



付録

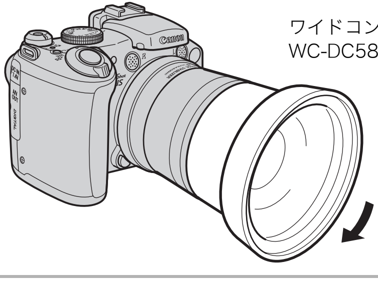
3 **コンバージョンレンズアダプターの●をカメラの●に合わせてから、ロックするまで（▲印のところまで）矢印の方向に回して取り付ける**



コンバージョン
レンズアダプター
LA-DC58E 装着時

- コンバージョンレンズアダプター（レンズフードまたはコンバージョンレンズ）を取り外すときは、リング取り外しボタンを押しながら、反対方向に回します。

4 **レンズまたはレンズフードを矢印の方向に回して確実に取り付ける**



ワイドコンバーター
WC-DC58A 装着時

- ご使用前には、レンズ面のゴミをブロワーブラシなどで完全に取り除いてください。ゴミが付いていると、ゴミにピントが合ってしまいます。
- レンズには、指紋がつきやすいのでご注意ください。
- リングを外すときは、カメラやコンバージョンレンズアダプターを落とさないように注意してください。
- レンズを取り付けて で撮影した画像は、パソコンを使ってパノラマ画像合成ソフトウェア「PhotoStitch」で正しく合成できません。

コンバーターを設定する

別売のワイドコンバーター WC-DC58A、テレコンバーター TC-DC58B、クローズアップレンズ 500D（58mm）をカメラに取り付けて、[手ぶれ補正］機能（p. 41）を使って撮影する場合に設定をします。

1 （撮影）メニュー➔[コンバータ]➔[なし]* /[WC-DC58A]/[TC-DC58B]/[500D]

メニュー操作（p. 26）

＊初期設定

- 取り付けたレンズを選びます。

- レンズをカメラから取り外したときは、コンバータを［なし］の設定に戻してください。

外付けストロボ(別売)の使いかた

撮影モード	AUTO ... SCN* ... P Tv Av M

＊ では設定できません。

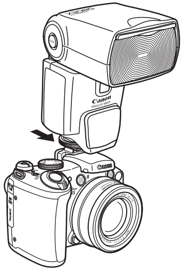
別売の外付けストロボを取り付けると、より自然で鮮明なストロボ撮影ができます。

キヤノンスピードライト 220EX、430EX、580EX II を取り付けると、自動調光で発光します（M モードまたは［ストロボ自動調光］［切］のときを除く）。それ以外のストロボをお使いの場合、マニュアルで発光するか、または発光しない場合があります。

お使いのストロボの取扱説明書も併せてご覧ください。

＊スピードライト 220EX、430EX、580EX II の取扱説明書に記載されている撮影機能の一部は、このカメラに取り付けたときに、お使いいただけません。このカメラでお使いになる場合は、最初に本書をお読みください。

1 カメラ上部のアクセサリーシューに取り付ける



2 外付けストロボの電源を入れ、カメラの電源を入れる

● 液晶モニター（またはビューファインダー）に、 (赤色) が表示されます。

3 撮影モードダイヤルを、撮影したいモードにする

- **スピードライト 220EX、430EX、580EX IIをお使いの場合＊**
  - ストロボ同調最高シャッタースピードは1/250秒です。
  - ［ストロボ自動調光］が［入］のとき自動調光で発光します。
  - 撮影モードが**M**、または［ストロボ自動調光］が［切］のときは、マニュアル発光します。絞り数値とISO感度は、お使いのストロボの取扱説明書に記載されているガイドナンバーを参考に、被写体との距離から最適値を設定してください。
  - 自動調光時は調光補正を、マニュアル発光時は発光量を調節できます（p. 85）。
  - 撮影モードが**M**、または［ストロボ自動調光］が［切］のときは、カメラのストロボ発光量調整画面で（p. 85）、外付けストロボの発光量を調節できます。スピードライト430EX、580EX IIを取り付けているときは、ストロボ側とカメラ側の両方で調節できます（ストロボ側の設定が優先されます）。ストロボ側で調節するときは、ストロボをマニュアル発光モードにすることをおすすめします。スピードライト 220EX の場合は、カメラ側でのみ調節できます。なお、E-TTL 自動調光モードでも、調光補正値を変更すると発光量を変更できます。撮影するときのホワイトバランスは、（ストロボ）に設定することをおすすめします。

  ＊380EX、420EX、550EX、580EXも同様にお使いになれます。

- **他のキヤノン製ストロボをお使いの場合**
  - フル発光しますので、シャッタースピードと絞り数値を適切に設定してください。ホワイトバランスは、（ストロボ）に設定することをおすすめします。

4 シャッターボタンを半押しする

- ストロボのパイロットランプが点灯すると、充電が完了です。

5 シャッターボタンを全押しして撮影する

- 連続撮影時、ストロボがクイック発光（パイロットランプが緑色点灯）の状態でも撮影できます。なお、フル発光（パイロットランプが赤色点灯）時に比べ、ストロボの発光量が少なくなることがあります。
- ストロボ発光時は、フォーカスブラケット撮影および AEB 撮影はできません。ストロボを発光して撮影した場合は、通常の 1 画像撮影になります。
- 他社のストロボ（特に高圧タイプのストロボ）やストロボ用付属品を使用すると、カメラが正常な機能を発揮しなかったり、故障の原因となることがありますのでご注意ください。

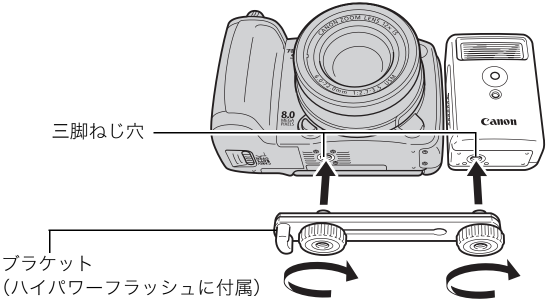
- スピードライト 220EX、430EX、580EX II で使用できる機能は、次のとおりです＊。
  - 自動調光（430EX/580EX II は、E-TTL モードでお使いください。）
  - FE ロック機能（**M** または［ストロボ自動調光］が［切］では使用できません。）
  - ストロボ発光（先幕 / 後幕）（430EX/580EX II をお使いの場合、ストロボ側の後幕設定が優先されます。）
  - スローシンクロ機能
  - ストロボ調光補正（430EX/580EX II をお使いの場合に、カメラ側とストロボ側（E-TTL モード時）の両方で調光補正を行った場合は、ストロボ側の設定が優先され、カメラ側の設定は機能しません。）
  - オートズーム機能（220EX には搭載されていません。）
  - マニュアル発光
  - ハイスピードシンクロ

  ＊380EX、420EX、550EX、580EXも同様にお使いになれます。

補助ストロボ(別売)の使いかた

ハイパワーフラッシュ HF-DC1

被写体が遠すぎて内蔵ストロボが届かないときに使用する外付け用補助ストロボです。次のようにカメラとハイパワーフラッシュをブラケットで固定して撮影してください。
ハイパワーフラッシュに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。



- 以下の場合、ハイパワーフラッシュは発光しません。
  - 撮影モードが**M**のとき、
  - ストロボ発光が［後幕］のとき
  - ストロボ自動調光が［切］のとき
- 電池が消耗するとハイパワーフラッシュの充電時間が長くなります。使用後はハイパワーフラッシュの電源 / 発光モードスイッチを必ず切ってください。
- 撮影中は、発光部や受光部を指でふさがないように注意してください。
- 撮影場所の周囲で他のカメラがストロボを使用していると、ハイパワーフラッシュが発光することがあります。
- 日中の野外や反射物がないときは、ハイパワーフラッシュが発光しないことがあります。
- 連続して撮影するときは、1画像目の撮影時は発光しますが、2画像目以降は発光しません。
- ブラケットの取り付けねじは、しっかり締め付けてください。カメラとハイパワーフラッシュが落下して故障の原因となります。

- ハイパワーフラッシュをブラケットに固定する前にリチウム電池（CR123A または DL123）が入れてあるか確認してください。
- 被写体に正しくストロボが当たるように、カメラとハイパワーフラッシュの前面は平行に、側面はぴったり合うように固定してください。
- ハイパワーフラッシュを取り付けた状態でも三脚はお使いになれます。

■ 電池について

●電池の使用可能時間が著しく短いとき

電池の電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。

●寒冷地でお使いになるとき

予備として市販のリチウム電池（CR123A または DL123）を用意してください。使用直前までポケットなどに入れて温めてから交互にお使いになることをおすすめします。

●お使いにならないとき

電池をハイパワーフラッシュに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。ハイパワーフラッシュから取り出して乾燥した冷暗所に保管してください。

コイン型リチウム電池を交換する

カメラの電源を入れたとき、日付 / 時刻の設定メニューが表示された場合は、コイン型リチウム電池の残量が低下し、日時の設定が消えています。市販のコイン型リチウム電池（CR1220）をお求めのうえ、次の手順で交換してください。

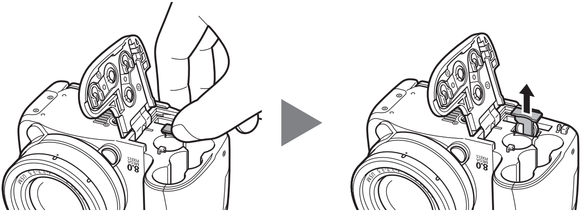
最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、ご購入時の電池寿命が規定よりも短くなることがあります。

⚠ ● コイン型リチウム電池は、お子様の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合、電池の素材の化学物質により胃、腸が侵される恐れがありますので、直ちに医師に相談してください。

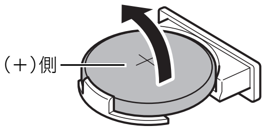
1 電源が切れていることを確認する

2 メモリーカードスロット/バッテリーカバー開放スイッチをスライドして開く

3 単3形の電池を取り出し、コイン電池ホルダーの中央部に爪をかけて引き出す



4 古いコイン型リチウム電池を矢印の方向に引き上げながら取り出す



付録

5 新しいコイン型リチウム電池の(＋)側を上にして取り付ける

6 コイン電池ホルダーと単3形の電池を元の位置に戻し、メモリーカードスロット/バッテリーカバーを閉じる

7 日付 / 時刻設定メニューが表示されたら、日付 / 時刻を設定する(基本編 p. 8)

- カメラをご購入後、はじめて電源を入れたときにも、日付 / 時刻の設定画面が表示されますが、コイン型リチウム電池を交換する必要はありません。

海外で使うとき

電源について

海外でもお使いになれます。

コンパクトパワーアダプターやバッテリーチャージャーは、AC100 ～ 240V 50/60Hz までの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります（1 つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。変換プラグアダプターやコンセントの形状については、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

- コンパクトパワーアダプターやバッテリーチャージャーを海外旅行用の電子変圧器などに接続すると、故障、発熱、火災、感電、けがの原因となることがありますので、接続しないでください。

テレビでの再生

ビデオ出力方式は､初期設定では日本国内で採用している NTSC 方式に設定されていますが、海外の別方式（PAL 方式：主にヨーロッパ、オセアニア、アジア（一部地域を除く））に切り換えることができます。海外に旅行したときなどは、切り換えてお使いください (p. 32)。

- 世界時計を設定する（p. 23）

付録

カメラのお手入れ

絶対にシンナーやベンジン、中性洗剤や水などを使ってクリーニングしないでください。部品の変形や故障の原因になることがあります。

カメラ本体

やわらかい布やメガネ拭きなどで汚れを拭き取ってください。

レンズ

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払った後、やわらかい布で軽く拭き取ってください。

- カメラ本体やレンズは、絶対に有機溶剤を含むクリーナーなどで拭かないでください。どうしても汚れが落ちないときは、最寄りの修理受付窓口（別紙でご確認ください）にご相談ください。

ビューファインダー、液晶モニター

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。

- 絶対に液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因となります。

主な仕様

すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

PowerShot S5 IS

カメラ部有効画素数	：約 800 万画素
撮像素子	：1/2.5 型 CCD（総画素数 約 830 万画素）
レンズ	：6.0（W）－ 72.0（T）mm （35mm フィルム換算 36（W）－ 432（T）mm） F2.7（W）－ F3.5（T）
デジタルズーム	：約 4.0 倍（光学ズームと合わせて最大約 48 倍）
ビューファインダー	：カラー液晶ファインダー、視野率 100％ 視度調節機能－5.5～＋1.5m^{-1}（ディオプトリ相当）
液晶モニター	：2.5 型低温ポリシリコン TFT 液晶カラーモニター約 20.7 万画素、視野率 100％（バリアングルタイプ）
AF 方式	：TTL オートフォーカス AF ロックおよびマニュアルフォーカス可能 測距枠：AF（顔優先＊ / 中央＊＊） ＊　顔が検知されない場合、中央 1 点 ＊＊ 中央 / アクティブフレームコントロール
撮影距離 （レンズ先端より）	：通常撮影：50cm ～∞ /90cm ～∞（T） マクロ撮影：10 ～ 50cm（W） スーパーマクロ撮影：0 ～ 10cm（W のみ） マニュアルフォーカス撮影：10cm ～∞（W） スポーツモード：1m ～∞（W）/4m ～∞（T）
シャッター	：メカニカルシャッター・電子シャッター
シャッタースピード	：15 ～ 1/3200 秒 ・撮影モードによって異なる ・15 ～ 1.3 秒のスローシャッター時はノイズリダクション処理あり
手ぶれ補正	：レンズシフト式 入 / 撮影時＊ / 流し撮り＊ / 切 ＊静止画のみ

（W）：ワイド端 （T）：テレ端

測光方式	：評価* / 中央部重点平均 / スポット** *: 顔優先 AF のときは顔の明るさを考慮 **: 中央固定 /AF 枠連動
露出補正	：± 2 段（1/3 段ステップ）、AEB 撮影可能、セーフティシフト可能
ISO 感度 （標準出力感度・推奨露光指数）	：オート*、高感度オート*、ISO 80 / 100 / 200 / 400 / 800 / 1600 *オート、高感度オート設定時は、カメラが最適値に自動設定
ホワイトバランス	：オート / 太陽光 / くもり / 電球 / 蛍光灯 / 蛍光灯 H / ストロボ / マニュアル
内蔵ストロボ	：オート / 常時発光 / 発光禁止 ストロボ調光補正± 2 段（1/3 段ステップ）/ 赤目緩和 / 発光量（3 段階）/FE ロック / スローシンクロ / 後幕シンクロ / セーフティFE 設定可能
内蔵ストロボ 撮影範囲	：通常撮影：50cm～5.2m（W）/90cm～4.0m（T） マクロ撮影：30 ～ 50cm（W） （ISO 感度設定：オート）
外部ストロボ	：ストロボ調光補正± 2 段（1/3 段ステップ）/ 発光量（19 段階（フル発光から 1/64 まで 1/3 段刻みで設定可能））/FE ロック / スローシンクロ / 後幕シンクロ / セーフティFE 設定可能
外部ストロボ接点	：アクセサリーシュー部シンクロ接点 （以下のストロボの使用を推奨） キヤノン スピードライト 220EX/430EX/580EX II

（W）：ワイド端 （T）：テレ端

撮影モード	：オート クリエイティブゾーン： **P** プログラム /**Tv** シャッタースピード優先 / **Av** 絞り優先 /**M** マニュアル /**C** カスタム イメージゾーン： ポートレート/風景/ナイトスナップ/スポーツ/ スペシャルシーン*/スティッチアシスト/動画 ＊夜景、パーティー/室内、新緑/紅葉、スノー、ビーチ、打上げ花火、水族館、ワンポイントカラー、スイッチカラー
連続撮影	：約 1.5 画像 / 秒* 約 0.9 画像 / 秒*（AF 連続撮影） 約 0.9 画像 / 秒*（LV 連続撮影） ＊ラージ・ファインモードのとき
セルフタイマー	：約 10 秒後 / 約 2 秒後 / カスタム
リモート撮影	：パソコン接続時、付属のソフトウェアで撮影可能
記録媒体	：SD メモリーカード /SDHC メモリーカード / マルチメディアカード
ファイルフォーマット	：DCF 準拠*、DPOF 対応 ＊DCF は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で、主として DSC 等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
データタイプ	：静止画：Exif 2.2（JPEG）* 音声メモ、サウンドレコーダー：WAVE（ステレオ） ：動画：AVI（画像データ：Motion JPEG 、 音声データ：WAVE（ステレオ）） ＊このデジタルカメラは、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Print は、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print 対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいな印刷結果を得ることができます。
圧縮率	：スーパーファイン / ファイン / ノーマル

記録画素数（静止画）	：ラージ　：　3264 × 2448 画素 ミドル 1　：　2592 × 1944 画素 ミドル 2　：　2048 × 1536 画素 ミドル 3　：　1600 × 1200 画素 スモール　：　640 × 480 画素 ワイド　：　3264 × 1832 画素
（動画）	：640 × 480 画素、30 フレーム / 秒 640 × 480 画素、30 フレーム / 秒 LP 320 × 240 画素、60 フレーム / 秒 320 × 240 画素、30 フレーム / 秒 メモリーカードの容量がいっぱいになるまで撮影可能* (1 回の最大記録容量：4GB **) *：超高速のメモリーカード使用時（推奨メモリーカード：SDC-512MSH） **：記録容量が 4GB に達していなくても、撮影時間が 1 時間に達した時点で記録を停止します。メモリーカードの容量、データ書き込み速度により、4GB または 1 時間に満たなくても記録を停止する場合があります。
音声	：量子化ビット：16 ビット サンプリングレート 音声メモ：11.025kHz 動画：44.100kHz サウンドレコーダー：11.025kHz/22.050kHz/44.100kHz
再生モード	：シングル再生（ヒストグラム表示可能）/ インデックス再生（サムネイル9画像）/拡大再生（液晶モニター上で最大約10倍に拡大可能、拡大した状態で画像送りが可能）/ 赤目補正 / マイカテゴリー/ ジャンプ（日付 / マイカテゴリー/ フォルダ / 動画 /10 枚 /100 枚。インデックス再生時は、9 画像ごとに再生）/ スライドショー/ レタッチマイカラー/音声メモ（最長1分まで記録 / 再生が可能）/ 動画再生（編集 / スロー再生可能）/ サウンドレコーダー（最長 2 時間まで音声だけの記録 / 再生が可能）

情報表示 （カスタマイズ）機能	：表示先：液晶モニター（2 種類）、ビューファインダー（2 種類） 表示内容：撮影情報＊、グリッドライン＊、3:2 ガイド＊、ヒストグラム＊ ＊それぞれの表示先に対し、表示/ 非表示の設定が可能
ダイレクトプリント方式	：PictBridge / CP ダイレクト / Bubble Jet ダイレクト対応
マイカメラ （カスタマイズ）機能	：起動画面 / 起動音 / 操作音 / セルフタイマー音 / シャッター音
インターフェース	：USB 2.0 Hi-Speed（mini-B） 映像 / 音声出力端子（NTSC または PAL 切換可能、ステレオ音声）
通信プロトコル設定	：MTP、PTP
電源	：単 3 形アルカリ電池（付属） 単 3 形充電式ニッケル水素電池（NB-3AH）（別売＊） ＊NB4-300 または CBK4-300 に付属 コンパクトパワーアダプターCA-PS700（別売）
動作温度	：0 ～ 40 ℃（NB-3AH 使用時は 0 ～ 35 ℃）
動作湿度	：10 ～ 90%
大きさ（突起部を除く）	：117.0 × 80.0 × 77.7mm
質量（本体のみ）	：約 450g

電池性能について

	撮影画像数		再生時間
	液晶モニター表示時(CIPA測定法準拠)	ビューファインダー表示時	
単3形アルカリ電池(付属品)	約 170 画像	約 200 画像	約 12 時間
単3形ニッケル水素電池(NB-3AH(フル充電))	約 450 画像	約 470 画像	約 15 時間

- 撮影画像数は、撮影状況、撮影モードなどにより異なります。
- 動画データは除きます。
- 使用環境温度が下がると、電池の性能が低下したり、バッテリーアイコンが早めに表示されることがあります。このような場合は、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、電池の性能が回復することがあります。

＜測定条件＞

撮影：常温（23 ± 2 ℃）・常湿（50 ± 20%）で、2回に1回ストロボを発光させながら、30 秒間隔でワイド端とテレ端で交互に撮影し、10 画像撮影後に電源切。十分な時間*が経過した後、再び電源を入れて同様の方法で撮影を繰り返す。
・キヤノンブランドのメモリーカードを使用
＊電池の温度が常温に戻るまでの時間

再生：常温（23 ± 2 ℃）・常湿（50 ± 20%）の環境において、1 画像あたり 3 秒間隔で連続再生。

- 電池の取り扱いについて（p. 148）

メモリーカードの種類と記録可能画像数 / 時間（目安）

□ : 付属のメモリーカード

記録画素数	圧縮率	32MB	SDC-128M	SDC-512MSH
L（ラージ） 3264 × 2448 画素	S	8	35	139
		14	59	231
		29	123	479
M1（ミドル 1） 2592 × 1944 画素	S	11	49	190
		20	87	339
		41	173	671
M2（ミドル 2） 2048 × 1536 画素	S	18	76	295
		32	136	529
		64	269	1041
M3（ミドル 3） 1600 × 1200 画素	S	29	121	471
		52	217	839
		99	411	1590
S（スモール） 640 × 480 画素	S	111	460	1777
		171	711	2747
		270	1118	4317
W（ワイド） 3264 × 1832 画素	S	11	47	183
		18	79	307
		39	166	642

・ ■ ：スムーズ連写（p. 42）できます（物理フォーマット時）。
・当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。

動画

□: 付属のメモリーカード

モード	動画記録画素数 / フレームレート	32MB	SDC-128M	SDC-512MSH
640/30	640 × 480 画素 / 30 フレーム / 秒	13 秒	58 秒	3 分 48 秒
640/LP	640 × 480 画素 / 30 フレーム / 秒(LP)	25 秒	1 分 48 秒	6 分 59 秒
320/60	320 × 240 画素 / 60 フレーム / 秒	19 秒	1 分 21 秒	5 分 17 秒
320/30	320 × 240 画素 / 30 フレーム / 秒	34 秒	2 分 24 秒	9 分 19 秒

＊表中の数値は、繰り返し撮影した場合の最大記録可能時間です。

サウンドレコーダーの音声サイズと記録時間(目安)

□: 付属のメモリーカード

	音声サイズ	32MB	SDC-128M	SDC-512MSH
11.025kHz	44KB/ 秒	11 分 44 秒	48 分 30 秒	3 時間 7 分 8 秒
22.050kHz	88KB/ 秒	5 分 52 秒	24 分 15 秒	1 時間 33 分 34 秒
44.100kHz	176KB/ 秒	2 分 56 秒	12 分 7 秒	46 分 47 秒

1画像の容量(目安)

記録画素数		圧縮率		
		S	F	N
L	3264 × 2448 画素	3436KB	2060KB	980KB
M1	2592 × 1944 画素	2503KB	1395KB	695KB
M2	2048 × 1536 画素	1602KB	893KB	445KB
M3	1600 × 1200 画素	1002KB	558KB	278KB
S	640 × 480 画素	249KB	150KB	84KB
W	3264 × 1832 画素	2601KB	1540KB	736KB

モード	記録画素数	フレームレート	容量
640 30	640 × 480 画素	30 フレーム / 秒	2006KB/ 秒
640 LP	640 × 480 画素	30 フレーム / 秒(LP)	1046KB/ 秒
320 60	320 × 240 画素	60 フレーム / 秒	1406KB/ 秒
320 30	320 × 240 画素	30 フレーム / 秒	746KB/ 秒

マルチメディアカード

インターフェース	マルチメディアカード規格準拠インターフェース
大きさ	32.0 × 24.0 × 1.4mm
質量	約 1.5g

SD メモリーカード

インターフェース	SD メモリーカード規格準拠インターフェース
大きさ	32.0 × 24.0 × 2.1mm
質量	約 2 g

ニッケル水素電池 NB-3AH

（別売のニッケル水素電池パック NB4-300 またはバッテリー / チャージャーキット CBK4-300 に付属）

形式	単 3 形充電式ニッケル水素電池
公称電圧	DC1.2V
公称容量	2500mAh（最小：2300mAh）
充放電回数	約 300 回（目安）
動作温度	0 ～ 35 ℃
直径×長さ	14.5 × 50.0mm
質量	約 30g

バッテリーチャージャー CB-5AH

（別売のバッテリー / チャージャーキット CBK4-300 に付属）

定格入力	AC100 ～ 240V（50/60Hz）
定格出力	565mA ＊1、1275mA ＊2
充電時間	約 4 時間 40 分＊1、約 2 時間＊2
動作温度	0 ～ 35 ℃
大きさ	65.0 × 105.0 × 27.5mm
質量（本体のみ）	約 95 g

＊ 1 NB-3AH 4 本の充電時

＊ 2 NB-3AH 2 本をバッテリーチャージャーの両端にセットしたときの充電時

コンパクトパワーアダプター CA-PS700（別売）

定格入力	AC100 ～ 240V（50/60Hz）
定格出力	DC7.4V、2.0A
使用温度	0 ～ 40 ℃
大きさ	112.0 × 29.0 × 45.0mm
質量	約 185g（電源コードを除く）

ワイドコンバーター WC-DC58A（別売）

倍率	0.75 倍
焦点距離＊3	27mm（35mm フィルム換算）
レンズ構成	3 群 3 枚
撮影距離＊3	28cm 〜∞（W）＊4
ねじ径	58mm 標準フィルターネジ＊5
最大径×大きさ	79.0m × 39.3mm
質量	約 170g

テレコンバーター TC-DC58B（別売）

倍率	1.5 倍
焦点距離＊6	648mm（35mm フィルム換算）
レンズ構成	3 群 5 枚
撮影距離＊6	2.0m 〜∞（T）＊4
ねじ径	58mm 標準フィルターネジ＊5
最大径×大きさ	72.0mm × 64.8mm
質量	約 170g

クローズアップレンズ 500D 58mm（別売）

撮影範囲 （レンズ先端より）	28 〜 50cm（ワイド端） 35 〜 50cm（テレ端）
ねじ径	58mm 標準フィルターネジ＊5
最大径×大きさ	60.0mm × 10.5mm
質量	約 60g

＊ 3 PowerShot S5 IS 装着時（ワイド端）
＊ 4 通常撮影時、装着したコンバーターの先端より
＊ 5 PowerShot S5 IS に装着時は、コンバージョンレンズアダプター LA-DC58E が必要
＊ 6 PowerShot S5 IS 装着時（テレ端）

コンバージョンレンズアダプター LA-DC58E（別売）

（別売のレンズアダプター / フードセット LAH-DC20 に付属）

ねじ径	58mm 標準フィルターネジ
最大径×長さ	63.0 × 43.1mm
質量	約 19g

レンズフード LH-DC40

（別売のレンズアダプター / フードセット LAH-DC20 に付属）

ねじ径	58mm 標準フィルターネジ
最大径×長さ	79.0mm × 31.5mm
質量	約 19g

CANON iMAGE GATEWAYを利用する

CANON iMAGE GATEWAY は、キヤノンのデジタルカメラを購入された方がお使いになれるオンラインフォトサービスです。オンラインで会員登録（無料）されると、いろいろなサービスがご利用いただけます。

- **バージョンアップなど、サポート情報の電子メール配信サービス**
- **オンラインアルバムサービス**
- **携帯電話アルバム通知・閲覧サービス**
- **ホームプリンティングサービス**
- **プリント注文サービス（有料）**
- **オリジナル写真集（フォトブック）作成サービス（有料）**
- **マイカメラコンテンツのダウンロード**

http://www.imagegateway.net/

- 最新のサービス内容は、上記のサイトでご確認いただけます。
- 会員登録方法は、上記のサイト、またはソフトウェアクイックガイドでご確認いただけます。

＊インターネットに接続できる環境（プロバイダとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み）が必要です。
＊プロバイダとの接続料金、およびプロバイダのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

索引

「基」は基本編の略です。

数字 / アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド（本書）に従って正しい取り扱いをしてください。

各撮影モードで設定できる機能一覧

各撮影モードで設定できる機能は、以下のとおりです。

			AUTO		SCN			P	Tv	Av	M	参照ページ
記録画素数（静止画）	ラージ	L	●	●	●	▲	●	●	●	●	●	p. 36
	ミドル 1	M1	○	○	○	△	○	○	○	○	○	
	ミドル 2	M2	○	○	○	△	○	○	○	○	○	
	ミドル 3	M3	○	○	○	△	○	○	○	○	○	
	スモール	S	○	○	○	△	○	○	○	○	○	
	ワイド	W	○	○	○	–	○	○	○	○	○	
圧縮率	スーパーファイン		○	○	○	△	○	○	○	○	○	p. 36
	ファイン		●	●	●	▲	●	●	●	●	●	
	ノーマル		○	○	○	△	○	○	○	○	○	
動画記録画素数 / フレームレート (1)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 48
ストロボ (2)	オート		○	●(3)	●(4)(5)	–	–	●	–	–	–	基本編 p. 14
	常時発光		–	○(3)	○(4)	△	–	○	○	○	○	
	発光禁止		●	●	●	▲	–	●	●	●	●	
赤目緩和機能			○	○(3)	○(4)	○	–	○	○	○	○	p. 40
スローシンクロ			–	–(6)	–(6)	△	–	○	–	○	–	p. 40
ドライブモード	シングル撮影		●	●	●	●	●	●	●	●	●	基本編 p. 18
	連続撮影		–	○(3)	○(7)	–	–	○	○	○	○	p. 42
	AF 連続撮影		–	○(8)	○(7)(4)	–	–	○	○	○	○	
	LV 連続撮影		–	○(3)	○(7)	–	–	○	○	○	○	
	10 秒セルフタイマー		○	○(3)	○	○	○	○	○	○	○	基本編 p. 18、19
	2 秒セルフタイマー		○	○(3)	○	○	○	○	○	○	○	
	カスタムセルフ		○	○(3)	○(7)	–	–	○	○	○	○	
ストロボ自動調光			○(9)	○(3)(9)	○(4)(9)	○(9)	–	○(9)	○	○	–	p. 85
ストロボ調光補正			–	–	–	△	–	○	○	○	–	p. 85
ストロボ発光量設定			–	–	–	–	–	–	○	○	○	p. 85

			AUTO		SCN			P	Tv	Av	M	参照ページ
ストロボ発光	先幕		○	○[10]	○[10]	○	–	●	●	●	●	p. 86
	後幕		–	–	–	–	–	○	○	○	○	
AF 枠選択	顔優先		●	●[3]	●[4]	–	●	○	○	○	○	p. 63
	中央		○	○	○	○	○	●	●	●	●	
AF モード	CONT		●	●	●[4]	▲	○	●	●	●	●	p. 65
	SINGLE		○	○[3]	○	△	–	○	○	○	○	
AF ロック		MF	–	○[3]	○[4]	○	○	○	○	○	○	p. 67
マニュアルフォーカス		MF	–	○[3]	○[4]	○	○	○	○	○	○	p. 68
MF 拡大表示			–	○[3]	○[4]	–	–	○	○	○	○	p. 68
AF 補助光			○	○[3]	○[4][11]	○	○	○	○	○	○	p. 28
マクロ / スーパーマクロ			○	○[12]	○[4]	○	–	○	○	○	○	基本編 p. 16
			–	–	○[13]	–	○	○	○	○	○	
デジタルズーム			○	○	○[7]	–	○	○	○	○	○	p. 38
デジタルテレコン			○	○	○[7]	–	–	○	○	○	○	p. 38
セーフティシフト			–	–	–	–	–	–	○	○	–	p. 61
セーフティFE			–	–	–	–	–	○	○	○	–	p. 61
露出補正 [14]			–	○	○[7]	△	–	○	○	○	–	p. 76
露出シフト			–	–	–	–	○	–	–	–	–	p. 47
ISO 感度		ISO	○[15]	–[16]	–[16]	–[16]	–[16]	○	○[17]	○[17]	○[18]	p. 73
ホワイトバランス [19]		AWB	–[16]	–[16]	–[16]	△[20]	○[21]	○	○	○	○	p. 80
測光方式	評価測光		○	○	○	△	○	●	●	●	●	p. 71
	中央部重点平均測光		–	–	–	–	–	○	○	○	○	
	スポット測光		–	–	–	–	–	○	○	○	○	
	中央固定		–	–	–	–	–	●	●	●	●	
	AF 連動枠		–	–	–	–	–	○	○	○	○	
AE ロック / FE ロック撮影			–	–	–	–	○[22]	○	○	○	–	p. 76、78
ブラケット撮影	AEB		–	–	–	–	–	○	○	○	–	p. 70、79
	フォーカスブラケット		–	–	–	–	–	○	○	○	○	
マイカラー			–	–	–	△	○	○	○	○	○	p. 82
オリジナル保存			–	–	○[13]	–	–	–	–	–	–	p. 56

	AUTO	(人物・風景・ポートレート・スポーツ)	SCN	(スティッチアシスト)	(動画)	P	Tv	Av	M	参照ページ
鏡像表示	○	○	○	–	○	○	○	○	○	p. 28
情報表示設定	○(23)	○(23)	○(23)	○(24)	○(25)	○	○	○	○	p. 15
手ぶれ補正	○	○	○	△	○(26)	○	○	○	○	p. 41
縦横自動回転	○	○	○	△	○	○	○	○	○	p. 90
自動カテゴリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 28

○:設定可(●:初期設定)　△:最初の1画像で設定可(▲:初期設定)　ー:設定不可
・ (灰色):電源を切っても記憶します。

(1) (動画)の記録画素数とフレームレートについて(p. 48)。
(2) 内蔵ストロボを下げて本体に収納したときは[発光禁止]に設定されます。
(3) (スポーツ)では設定できません。
(4) (打ち上げ花火)では設定できません。
(5) (水中)では設定できません。
(6) (風景)、(夜景)、(夜景ポートレート)のみ[入]設定固定となります([切]設定はできません)。
(7) (ワンポイントカラー)、(スイッチカラー)では設定できません。
(8) (スポーツ)では初期設定となります。
(9) [切]設定はできません。
(10) (スポーツ)、(打ち上げ花火)では[切]設定固定となります。
(11) (水中)では、ストロボが[常時発光]のときのみ設定できます。
(12) (風景)、(スポーツ)では設定できません。
(13) (ワンポイントカラー)、(スイッチカラー)のみ設定できます。
(14) 初期値は0となります。
(15) ISO AUTOとISO HIの切り換えのみできます。
(16) カメラが自動的に設定します。
(17) ISO HIの設定はできません。
(18) ISO AUTO、ISO HIの設定はできません。
(19) マイカラーが[セピア]、[白黒]のときは設定できません。
(20) マニュアルの白データ取り込みはできません。
(21) (強制発光)は設定できません。
(22) FEロックは設定できません。
(23) [ヒストグラム]の表示はできません。
(24) [撮影情報]の表示のみできます。
(25) [3:2ガイド]の表示はできません。
(26) [撮影時]、[流し撮り]は設定できません。